

運動部顧問調査報告書

令和5年4月

静岡県高等学校体育連盟研究部

目 次

はじめに	1
I 調査の目的	2
II 調査の対象	2
III 調査の方法	2
IV 調査の内容	2
V 調査の時期	2
VI 調査の結果	3
VII まとめ	38
付表1 調査要項	41
付表2 アンケート用紙	42
付表3 アンケートのデータ	48
編集後記	54

はじめに

静岡県高等学校体育連盟では、昭和 61 年度に高体連に係わる調査研究を行う目的で研究部を組織し、昭和 63 年度に運動部顧問を対象とした「運動部顧問調査」を開始しました。平成 5 年度には生徒の視点から部活動を捉える「高校生の部活動に関する意識調査」を実施するなど、運動部顧問と運動部生徒両面から部活動運営について考えるための貴重な参考資料であり、この間 35 年間に渡り積み重ねられたデータは、各運動部顧問の指導の在り方に大きな影響を与えるとともに、学校や行政の方向性を示唆する重要なものとなっています。

今年度調査からは生徒数の減少に伴い、設置部活動数や顧問数の減少が進んでいることが推測できます。各学校においては部活動の統廃合が進められ、一部の専門部では所属部活動数が大きく減少するなど、持続可能な運営体制の検討が必要となってきました。また、強化と普及のバランスを適切に保ち、部活動顧問が連携して指導改善に取り組むことが求められています。

文部科学省は中学校における休日の部活動を外部に移行する部活動改革を提言し、令和 5 年度から各市町で地域移行に向けた準備が進められています。また、教員の働き方改革の一環として、地域の人材が部活動の指導を担うことで教員負担を減少に繋げることが期待されています。長い間教員が負担してきた部活動指導を外部に移行することは、地域格差や経済的負担等の課題を伴うとともに、生徒の運動部活動離れに拍車がかかることが懸念されており、数年後には高等学校においても大きな影響を受けることが予測できます。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、令和 3 年に東京オリンピックパラリンピックが開催されました。また、令和 4 年にはサッカーワールドカップカタール大会が、令和 5 年にはワールドベースボールクラシックが開催されるなど、スポーツ選手の活躍は私たちの生活に大きな夢と活力をもたらしています。同様に、高校生が各自の目標に向けて計画的に努力し、協働して課題を解決していく運動部活動は、これからの時代に求められる力を養うための最も効果的な教育の一つであるとともに、その活性化は学校経営にも重要な役割を果たしています。

静岡県高等学校体育連盟の目標に「運動部活動はスポーツを通して豊かな人間性を育成し、たくましく生きる力を育む」、「部活動に多くの生徒が楽しく参加することができる」とあり、今後とも運動部活動顧問の先生方には、熱意ある指導をお願いするとともに、本調査結果を一読いただき、運動部活動の実態・課題を把握し、これからの部活動指導に役立てていただければ大変ありがたいと存じます。

おわりに、本調査作成にあたって御尽力いただいた研究委員の方々ならびに調査に御協力いただきました運動部活動顧問の方々に厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月 静岡県高等学校体育連盟 研究部長
朝倉 徹

I 調査の目的

学校の教育活動の一環として運動部活動が果たしてきた役割は大きなものであり、人間形成や生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた。また、顧問の熱意あふれる指導は、生徒の各競技における技術の習得や体力の養成にとどまらず、社会性の育成にもつながり、有為な人材を世に送り出してきた。

一方で、部活指導中の生徒に対する不適切な言動が、体罰やハラスメントにつながるケースも見受けられるなど、指導の資質向上や指導方法の改善、部活動改革が求められている。部活動改革の一つとしては、教員の働き方改革の観点から、時間外指導となる活動時間の短縮が求められている。今後は、運動部活動の教育的効果を最大限引き出し、持続可能な運動部活動の環境を整備するためにも、あらゆる角度から分析と方策を考えていくことが必要である。

静岡県高体連研究部では、実態把握や課題の解決のための一助となることを目的に部活動現場の状況や顧問の意識を調査しているものである。また、本調査は概ね10年ごとに実施し、過去に行った調査との比較や時代の変化に対応していく運動部活動の役割を確認するための分析を併せて行うものとする。

II 調査の対象

全日制高等学校運動部正顧問 全員

III 調査の方法

質問紙によるアンケート調査（回答はGoogleフォーム）

IV 調査の内容

種目、性別、年齢、所属校、教科、顧問数、副顧問の役割、選手経験、顧問歴、コーチ・トレーナーの有無、指導方針、部目標、指導力、部の強化、コーチの必要性、指導上の支障、顧問の負担、顧問の継続、活動時間、活動日数、指導上の悩み、運動部活動の地域移行

V 調査の時期

令和5年2月～3月

設問1 あなたが顧問をしている部活動の種目を選んでください。

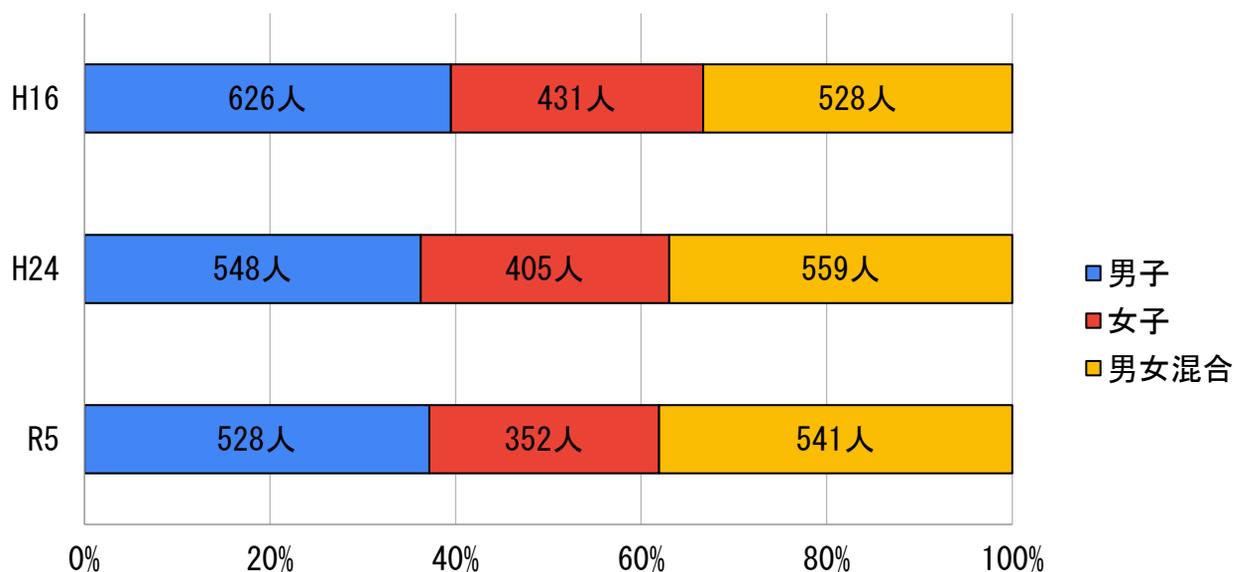
昭和：S 平成：H 令和：R

S63の回答者数 2035人 H16の回答者数 1813人 H24の回答者数 1514人
R5の回答者数 1421人【 20歳代 (250人)、30歳代 (397人)、40歳代 (388人)、50歳代 (309人)、60歳代 (77人) 】

種目	S63	H16	H24	R5	種目	S63	H16	H24	R5
陸上競技	145	122	109	119	相撲	7	6	4	6
水泳	97	84	66	53	ボート	13	11	11	10
バレーボール	224	202	157	142	ウエイトリフティング	6	3	2	1
バスケットボール	212	214	193	177	フェンシング	7	4	2	3
ソフトテニス	112	74	56	49	レスリング	11	9	9	9
サッカー	102	134	119	122	自転車競技	6	3	4	4
テニス	134	165	139	124	ヨット	6	3	3	1
体操 (新体操)	47	28	22	19	ホッケー	4	5	2	4
卓球	185	122	101	92	ボクシング	2	1	2	1
ラグビー	14	11	9	12	アーチェリー	13	12	8	6
ハンドボール	47	43	30	34	スケート	5	0	0	0
軟式野球	4	4	4	2	空手道	10	15	12	10
ソフトボール	59	40	32	28	なぎなた		2	2	1
バドミントン	60	65	61	64	スキー		0	2	0
剣道	139	103	82	70	カヌー		2	1	2
柔道	113	86	60	39	少林寺拳法		3	5	4
弓道	67	68	53	61	硬式野球	100	94	95	99
登山	62	36	22	16	その他	22	39	35	37

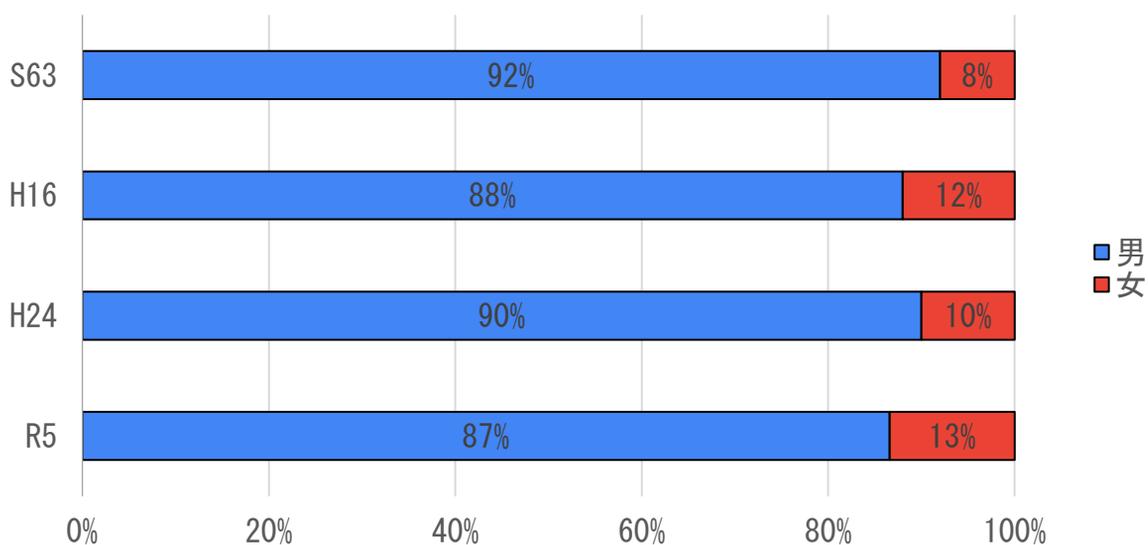
設問2 あなたが顧問をしている部活動の男女の別を選んでください。

選択肢（人）	H16	H24	R5
男子	626	548	528
女子	431	405	352
男女混合	528	559	541



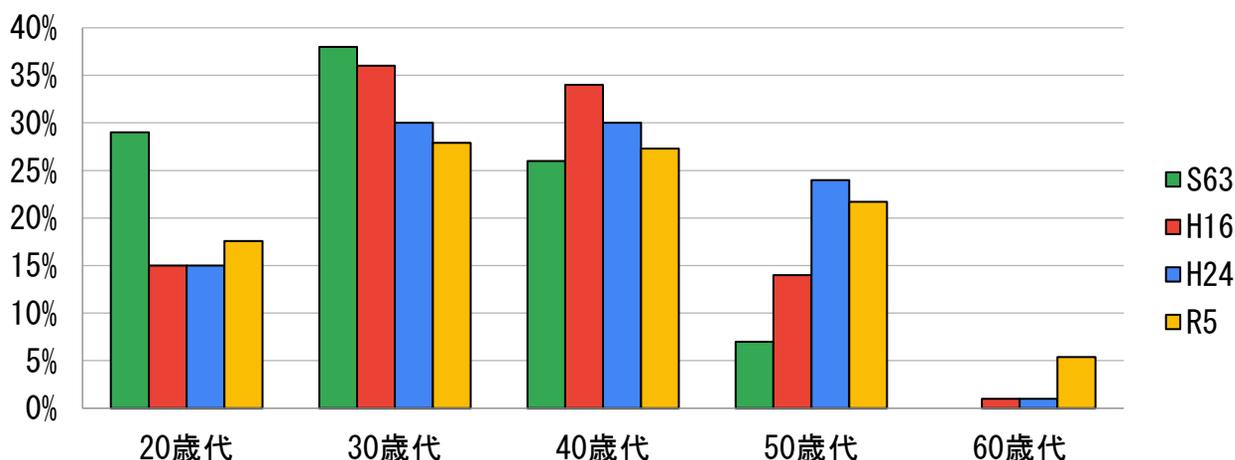
設問3 あなたの性別を選んでください。

選択肢	S63	H16	H24	R5
男	92%	88%	90%	87%
女	8%	12%	10%	13%



設問4 あなたの年齢を選んでください。

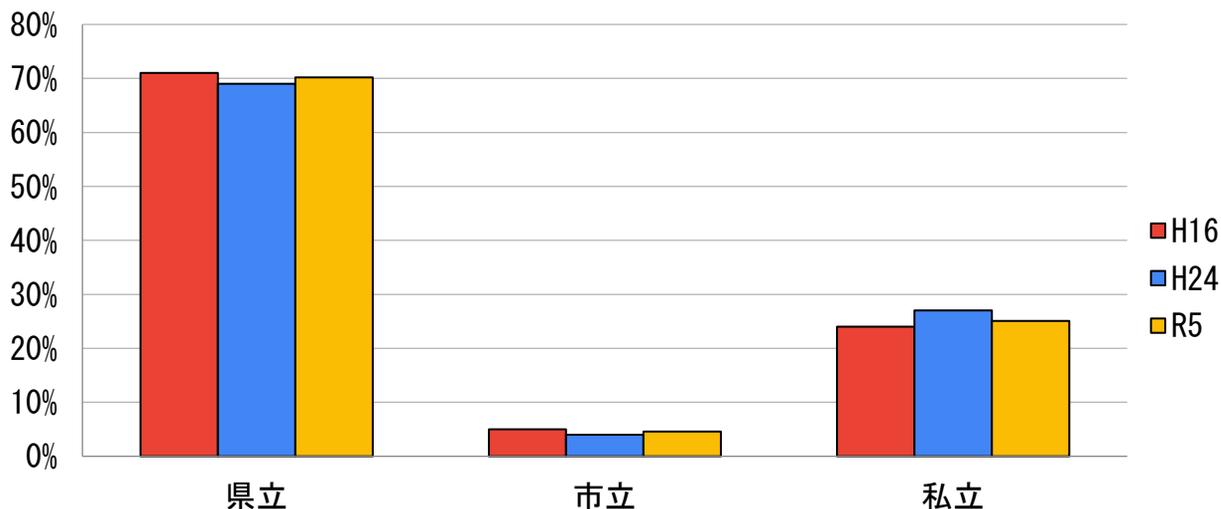
選択肢	S63	H16	H24	R5
20歳代	29%	15%	15%	18%
30歳代	38%	36%	30%	28%
40歳代	26%	34%	30%	27%
50歳代	7%	14%	24%	22%
60歳代	0%	1%	1%	5%



前回調査から20歳代・60歳代が増加した。定年延長等の影響が伺える。

設問5 あなたが所属している学校を選んでください。

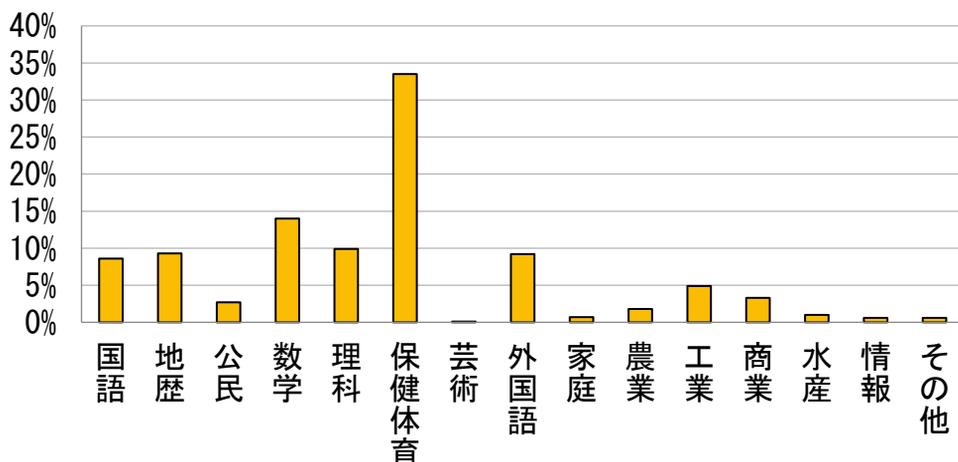
選択肢	H16	H24	R5
県立	71%	69%	70%
市立	5%	4%	5%
私立	24%	27%	25%



設問6 あなたの教科を選んでください。

選択肢	R5
国語	9%
地歴	9%
公民	3%
数学	14%
理科	10%
保健体育	34%
芸術	0%
外国語	9%
家庭	1%
農業	2%
工業	5%
商業	3%
水産	1%
情報	1%
その他	1%

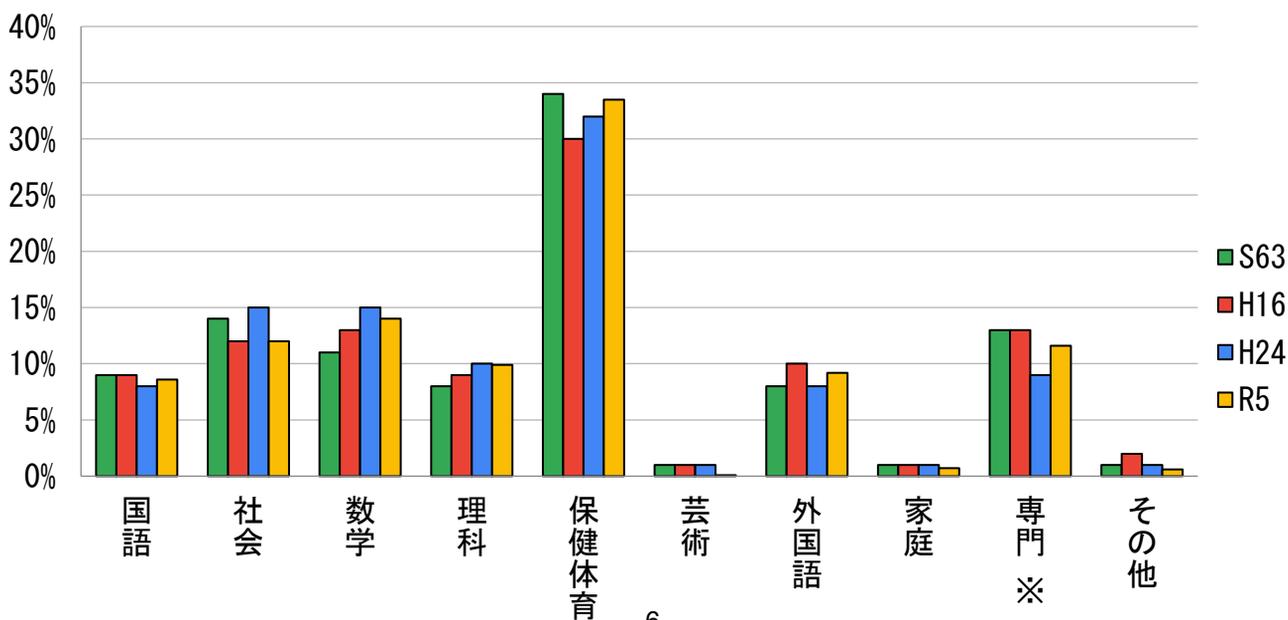
R5 教科別集計



「保健体育」の全体に占める割合が、どの調査でも30%以上になっている。その他の教科に大きな変化は見られなかった。

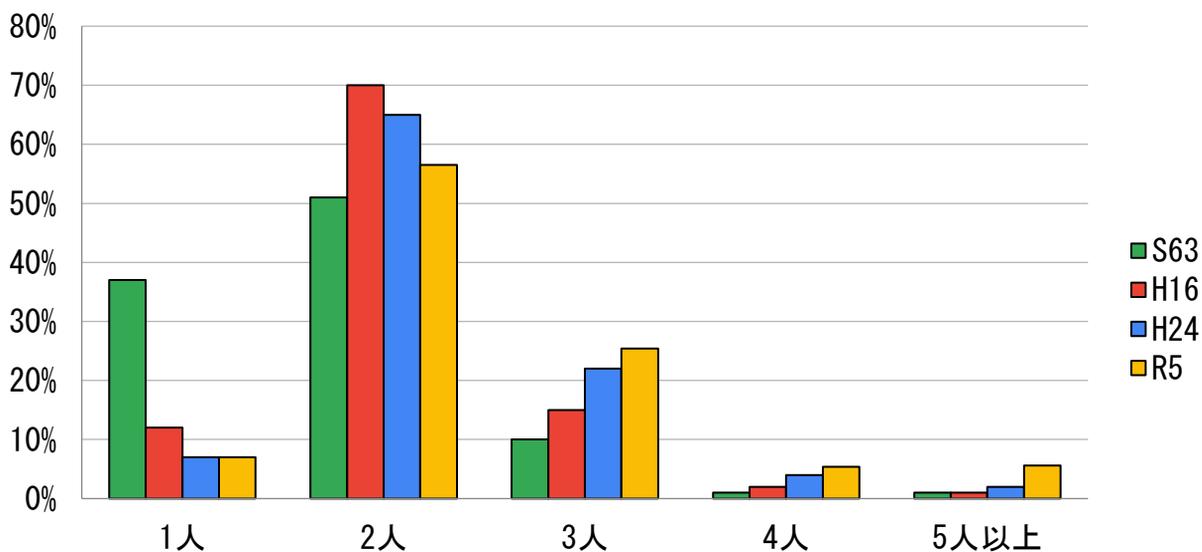
選択肢	S63	H16	H24	R5
国語	9%	9%	8%	9%
社会	14%	12%	15%	12%
数学	11%	13%	15%	14%
理科	8%	9%	10%	10%
保健体育	34%	30%	32%	34%
芸術	1%	1%	1%	0%
外国語	8%	10%	8%	9%
家庭	1%	1%	1%	1%
専門 ※	13%	13%	9%	12%
その他	1%	2%	1%	1%

※ 情報・農業・工業・商業・水産



設問7 あなたが顧問をしている部活動の顧問数は、あなたを含め何人ですか。

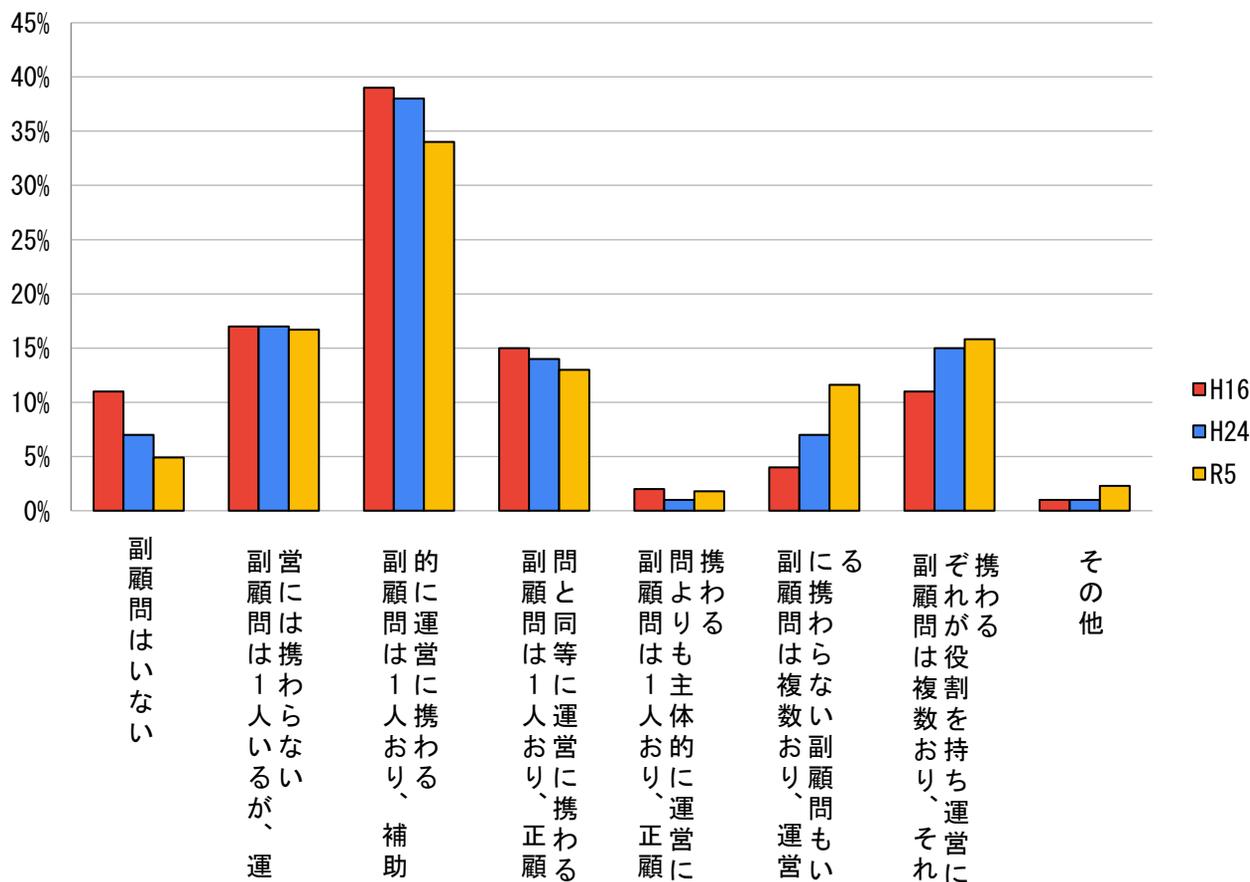
選択肢	S63	H16	H24	R5
1人	37%	12%	7%	7%
2人	51%	70%	65%	57%
3人	10%	15%	22%	25%
4人	1%	2%	4%	5%
5人以上	1%	1%	2%	6%



複数の顧問を置く傾向が進んでおり、特に3人以上の体制を採用する部活動が増えている。

設問8 あなたが顧問をしている部活動の、副顧問の役割について該当する項目を選んでください。

選択肢	H16	H24	R5
副顧問はいない	11%	7%	5%
副顧問は1人いるが、運営には携わらない	17%	17%	17%
副顧問は1人おり、補助的に運営に携わる	39%	38%	34%
副顧問は1人おり、正顧問と同等に運営に携わる	15%	14%	13%
副顧問は1人おり、正顧問よりも主体的に運営に携わる	2%	1%	2%
副顧問は複数おり、運営に携わらない副顧問もいる	4%	7%	12%
副顧問は複数おり、それぞれが役割を持ち運営に携わる	11%	15%	16%
その他	1%	1%	2%



「副顧問は1人おり、補助的に運営に携わる」が最も多いのは変わらないが、割合は漸減している。

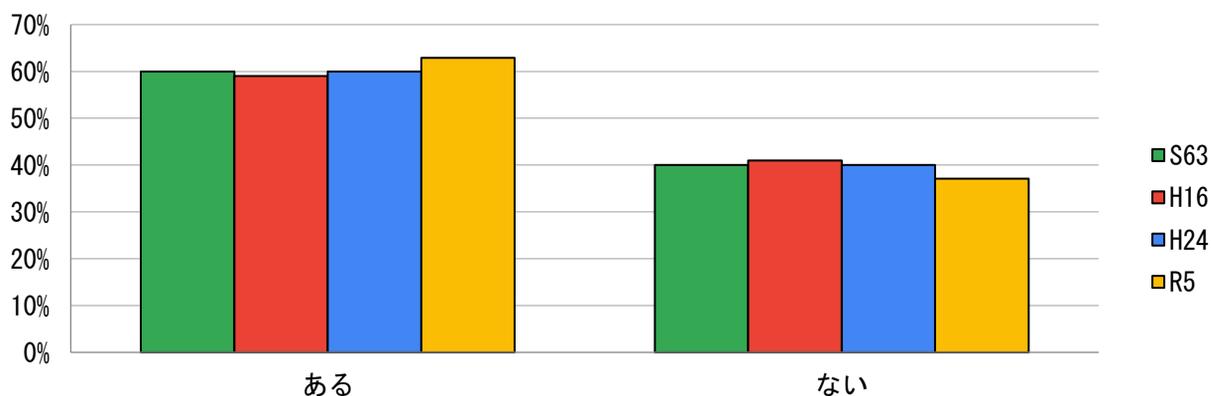
「副顧問は複数おり、運営に携わらない副顧問もいる」「副顧問は複数おり、それぞれが役割を持ち運営に携わる」が漸増している。

設問7と併せて考えると、複数顧問体制を採用している現場が増えているが、何らかの役割を持っている副顧問が2/3程度、特に関わらない副顧問が1/3程度となっており、その割合は過去調査と変わらない。正顧問の負担は変化していないことが推察される。

後の設問を加えて考察すると、必ずしも全ての教員が部活動に携わっているとは限らないことが伺える。

設問9 あなたが顧問をしている種目について、選手としての経験はありますか。

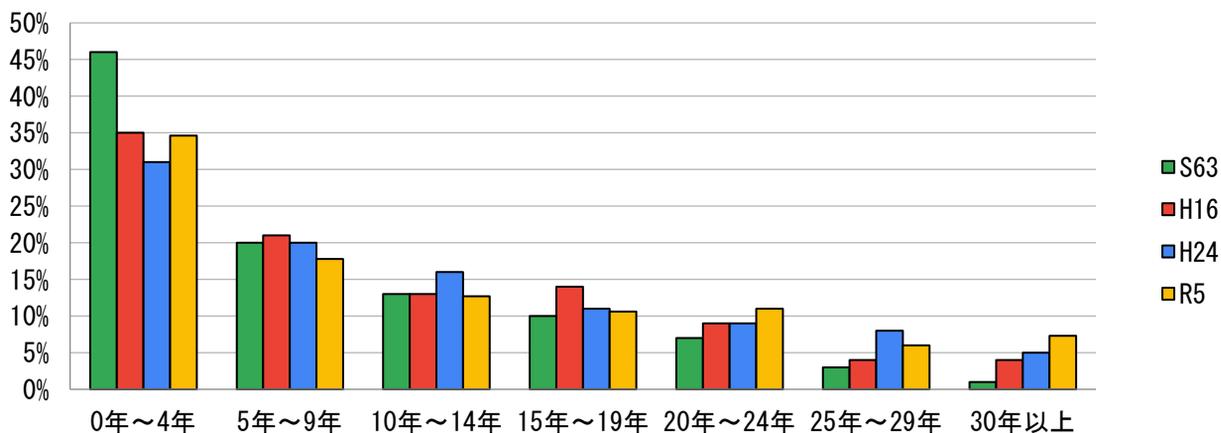
選択肢	S63	H16	H24	R5
ある	60%	59%	60%	63%
ない	40%	41%	40%	37%



選手経験のある顧問が微増する傾向にあった。

設問10 あなたが顧問をしている種目について何年間の指導歴（顧問歴）がありますか。

選択肢	S63	H16	H24	R5
0年～4年	46%	35%	31%	35%
5年～9年	20%	21%	20%	18%
10年～14年	13%	13%	16%	13%
15年～19年	10%	14%	11%	11%
20年～24年	7%	9%	9%	11%
25年～29年	3%	4%	8%	6%
30年以上	1%	4%	5%	7%

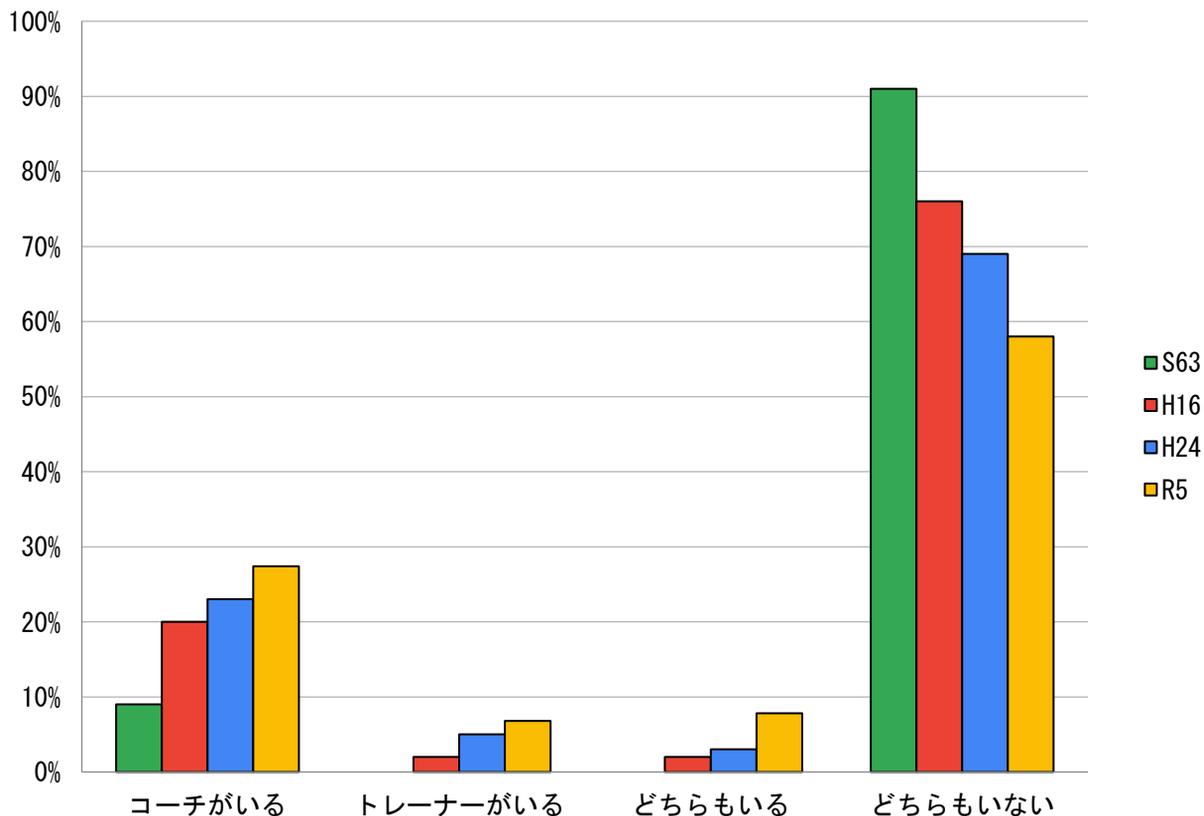


「30年以上」「20～24年」の経験豊富な層が漸増している。
一方で経験の少ない「0～4年」が増加した。

「設問4」と併せて考えると、教員全体の年齢構造が変化していることが影響していると思われる。

設問11 あなたが顧問をしている部活動には、コーチまたはトレーナーがいますか。

選択肢	S63	H16	H24	R5
コーチがいる	9%	20%	23%	27%
トレーナーがいる		2%	5%	7%
どちらもいる		2%	3%	8%
どちらもいない	91%	76%	69%	58%

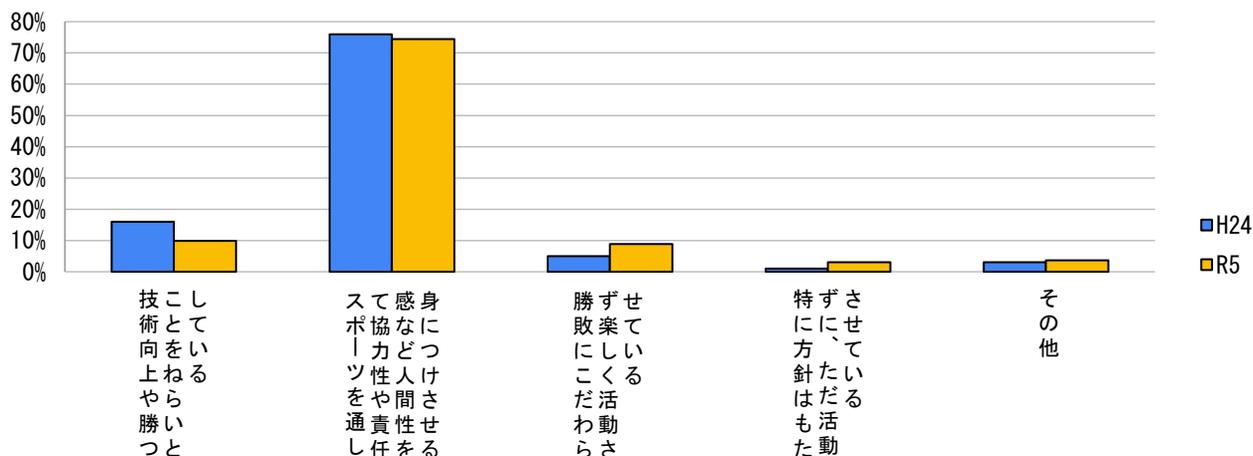


コーチ・トレーナーのいる部活動は前回は約3割だったのに対し、今回は4割を超える結果となり、増加する傾向は進んでいる。

設問17までの結果を併せて考えると、コーチ・トレーナーの活用増加は、競技力向上に向けられた補強というよりも、外部人材を活用して専門指導のできる人材に委託している傾向が伺える。

設問12 あなたが部活動を指導していく上で最も重要視する方針は何ですか。

選択肢	H24	R5
技術向上や勝つことをねらいとしている	16%	10%
スポーツを通して協力性や責任感など人間性を身につけさせる	76%	74%
勝敗にこだわらず楽しく活動させている	5%	9%
特に方針はもたずに、ただ活動させている	1%	3%
その他	3%	4%

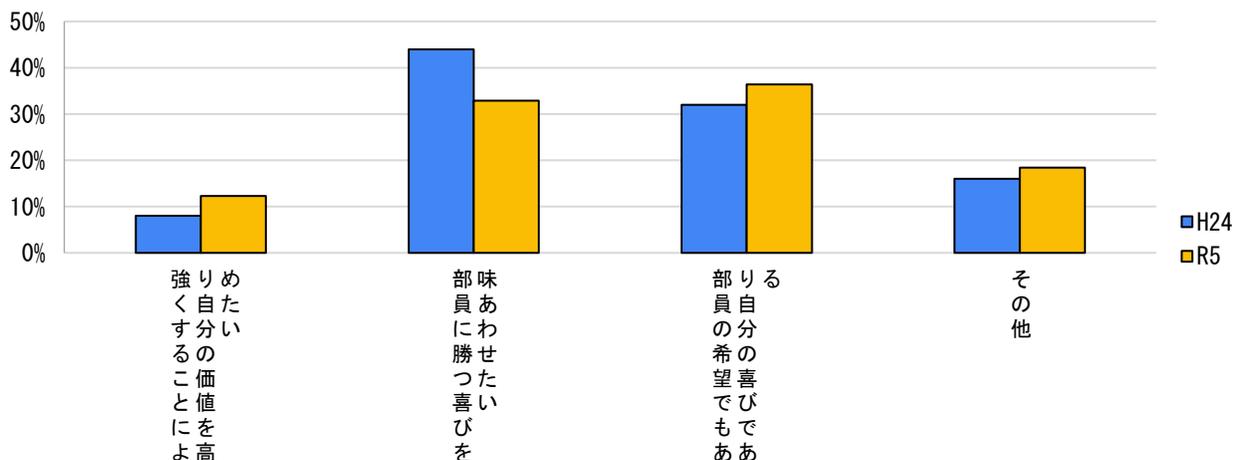


全体として割合に大きな変化は無かったが、「技術向上や勝つことをねらいとしている」が減り、「勝敗にこだわらず楽しく活動させている」「特に方針はもたずに、ただ活動させている」が増加した。

競技志向が減少していることが伺える。

設問13 設問12で「技術向上や勝つことをねらいとしている」と答えた方は「その理由」を下記から選んでください。

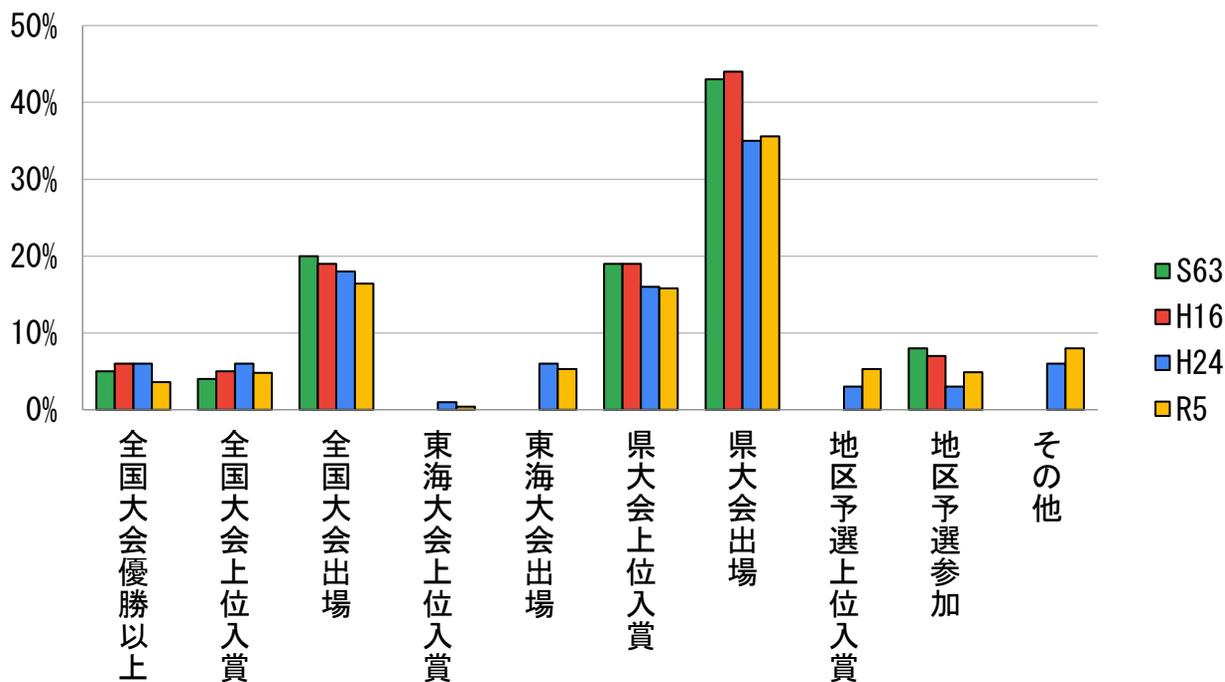
選択肢	H24	R5
強くすることにより自分の価値を高めたい	8%	12%
部員に勝つ喜びを味あわせたい	44%	33%
部員の希望でもあり自分の喜びである	32%	36%
その他	16%	18%



「部員に勝つ喜びを味あわせたい」が減少し、それ以外の項目が増加した。顧問自身の成果・価値観を理由としている割合が増えたといえる。

設問14 あなたの部活動の目標をどこにしていますか。

選択肢	S63	H16	H24	R5
全国大会優勝以上	5%	6%	6%	4%
全国大会上位入賞	4%	5%	6%	5%
全国大会出場	20%	19%	18%	16%
東海大会上位入賞			1%	0%
東海大会出場			6%	5%
県大会上位入賞	19%	19%	16%	16%
県大会出場	43%	44%	35%	36%
地区予選上位入賞			3%	5%
地区予選参加	8%	7%	3%	5%
その他			6%	8%



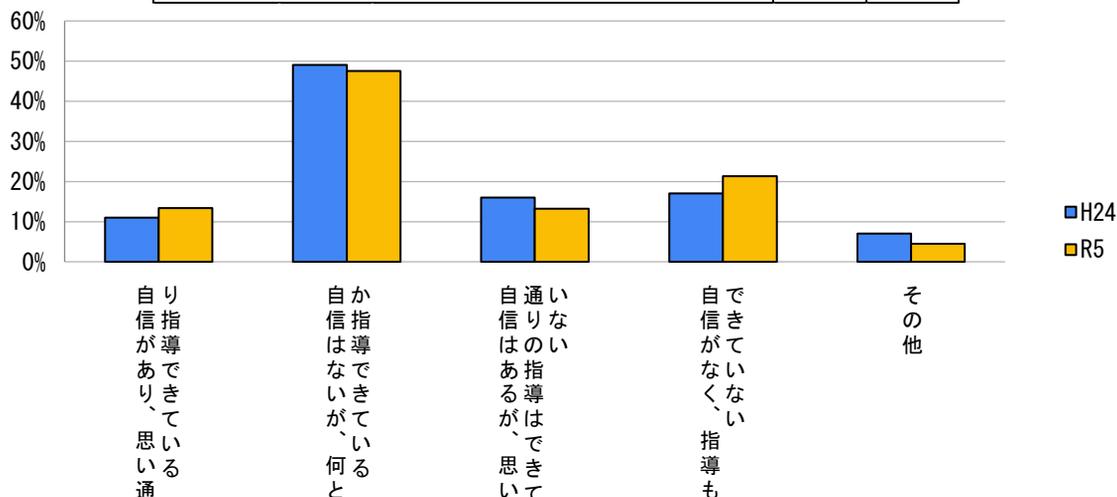
この質問は平成24年調査から選択肢が変わったことから単純比較はできないが、全国・東海大会目標が減り、地区予選等の目標が増えた。

設問12と併せて考えると、競技志向が減り、楽しく活動することを志向している部活動が増えていることが伺える。

これらのことは、後述する部員数減少が影響しているとも考えられる。

設問15 あなたは自分の指導力についてどのように思いますか。

選択肢	H24	R5
自信があり、思い通り指導できている	11%	13%
自信はないが、何とか指導できている	49%	48%
自信はあるが、思い通りの指導はできていない	16%	13%
自信がなく、指導もできていない	17%	21%
その他	7%	5%

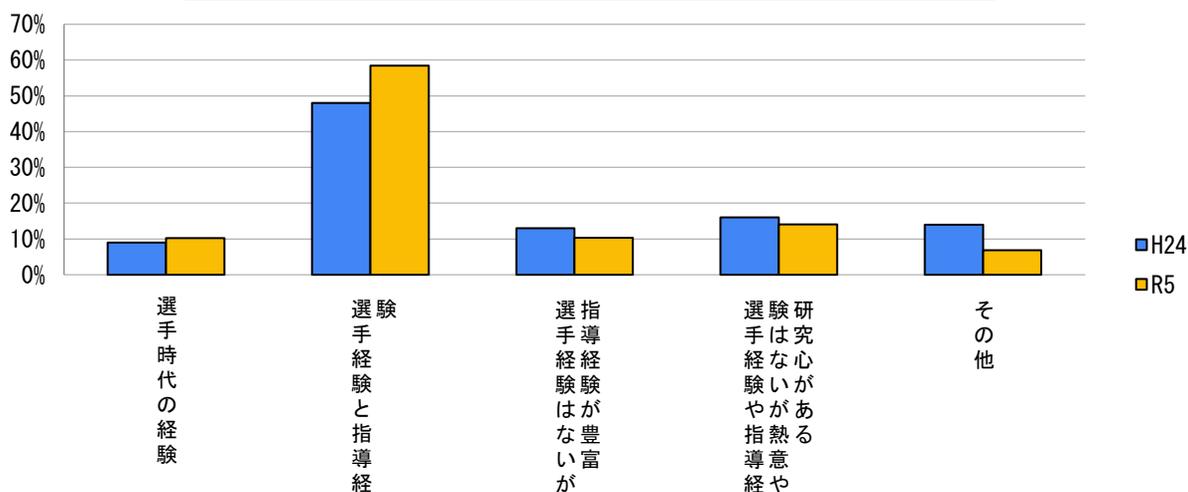


大きな変化は見られなかったが、「自信はないが、何とか指導できている」が最も多く約半数を占めた。

また、自信がない・思い通りにならないといった不安感を持って指導にあたっている顧問が9割弱を占めている。

設問16 設問15で「自信があり、思い通り指導できている」または「自信はないが、何とか指導できている」と答えた方はその理由を下記から選んでください。

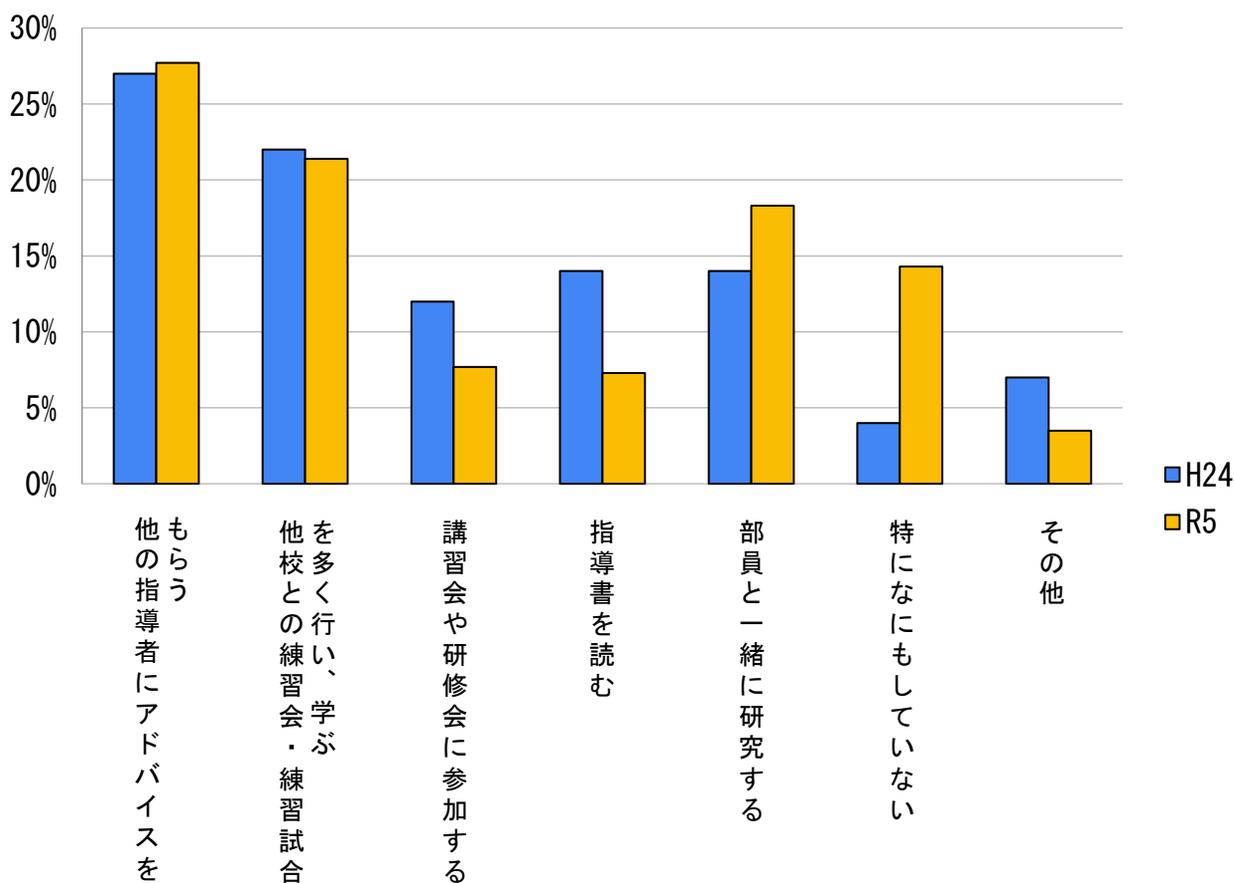
選択肢	H24	R5
選手時代の経験	9%	10%
選手経験と指導経験	48%	58%
選手経験はないが指導経験が豊富	13%	10%
選手経験や指導経験はないが熱意や研究心がある	16%	14%
その他	14%	7%



「選手経験と指導経験」が増加した。

設問17 設問15で「自信はあるが、思い通りの指導はできていない」または「自信がなく、指導もできていない」と答えた方はその解決のためにどのような努力をしているか、下記から選んでください。

選択肢	H24	R5
他の指導者にアドバイスをもらう	27%	28%
他校との練習会・練習試合を多く行い、学ぶ	22%	21%
講習会や研修会に参加する	12%	8%
指導書を読む	14%	7%
部員と一緒に研究する	14%	18%
特になにもしていない	4%	14%
その他	7%	4%



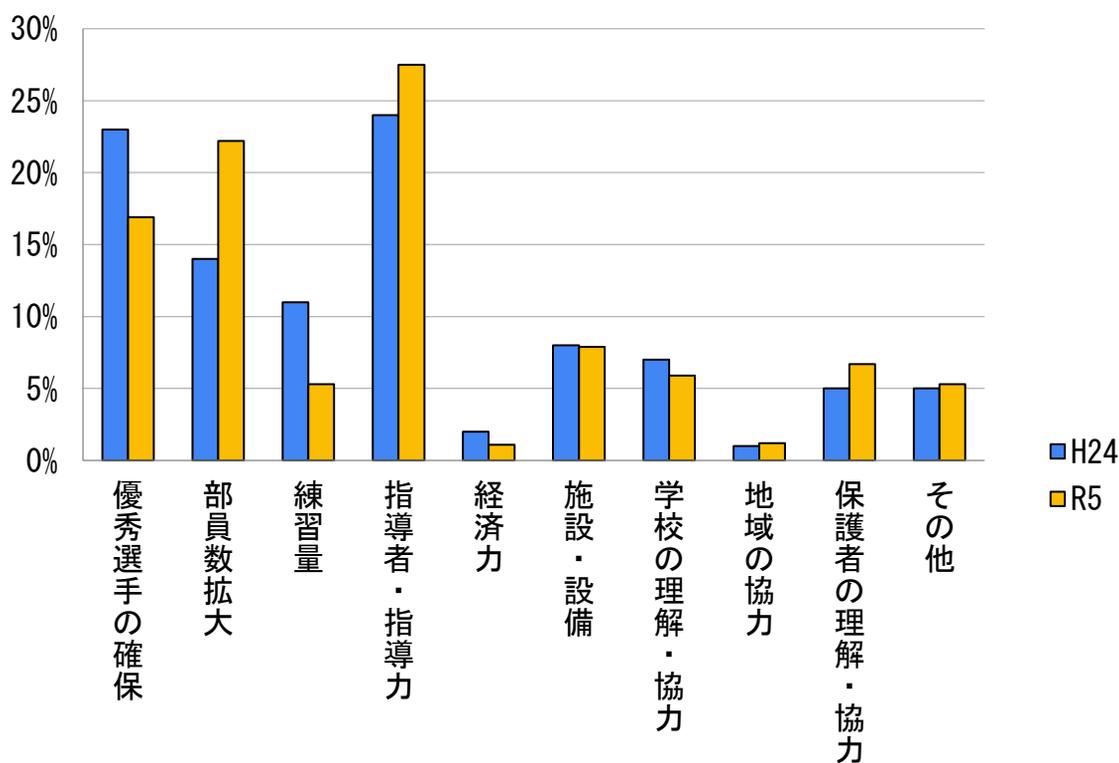
「特に何もしていない」が増加し、講習会や指導書から知識を得たり、学ぼうとする人は減少した。

設問12・14と併せて考えると、競技志向でなく、楽しい活動を志向する割合の増加が影響していると考えられる。

一般的に業務多忙化の中、部活動指導に対してのモチベーションが低下しているとも考えられる。

設問18 あなたが担当している部活動の強化のためには何が最も重要だと思いますか。

選択肢	H24	R5
優秀選手の確保	23%	17%
部員数拡大	14%	22%
練習量	11%	5%
指導者・指導力	24%	28%
経済力	2%	1%
施設・設備	8%	8%
学校の理解・協力	7%	6%
地域の協力	1%	1%
保護者の理解・協力	5%	7%
その他	5%	5%

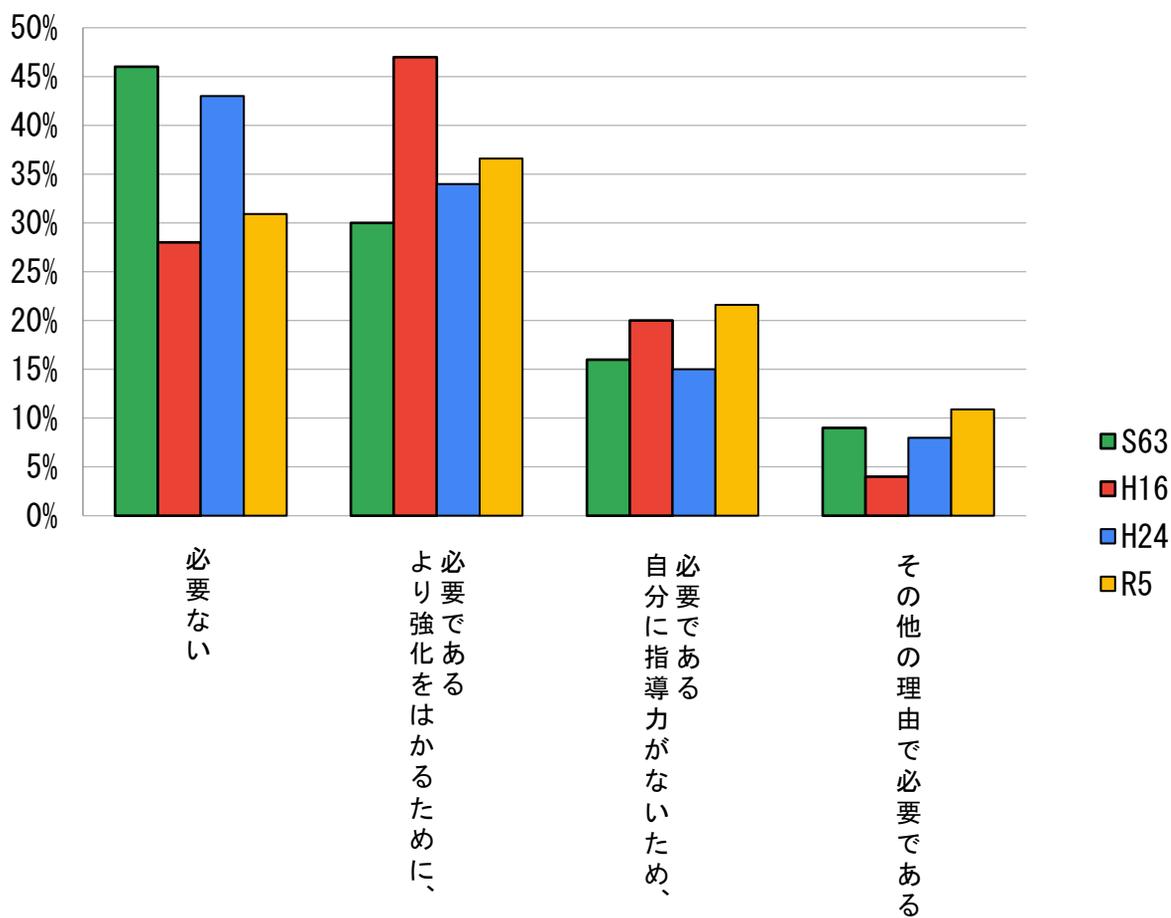


「部員数の拡大」が増加した。
また、「優秀選手の確保」「練習量」が減少した。

少子化の影響により、部員数が確保できていない現状が伺える。
このことは、競技志向の割合が減っている一因であろう。

設問19 あなたが担当している部活動に、外部コーチ等の顧問以外の指導者は必要だと思いますか。

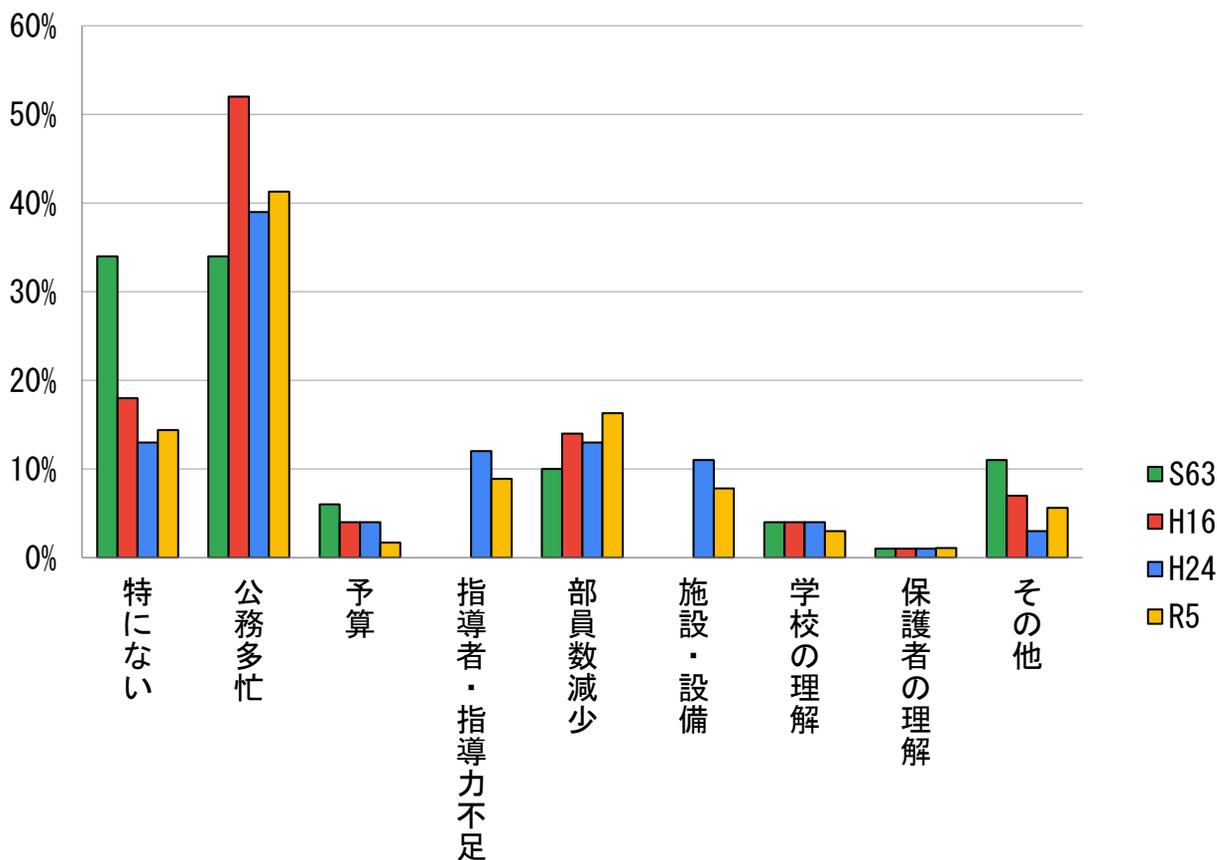
選択肢	S63	H16	H24	R5
必要ない	46%	28%	43%	31%
より強化をはかるために、必要である	30%	47%	34%	37%
自分に指導力がないため、必要である	16%	20%	15%	22%
その他の理由で必要である	9%	4%	8%	11%



全体として、必要と感じている割合が増加している。

設問20 あなたは現在、部活動を指導する上で支障がありますか。

選択肢	S63	H16	H24	R5
特にない	34%	18%	13%	14%
公務多忙	34%	52%	39%	41%
予算	6%	4%	4%	2%
指導者・指導力不足			12%	9%
部員数減少	10%	14%	13%	16%
施設・設備			11%	8%
学校の理解	4%	4%	4%	3%
保護者の理解	1%	1%	1%	1%
その他	11%	7%	3%	6%



「公務多忙」が最も多く、漸増する傾向にある。

また、「部員数減少」も漸増する傾向にある。

「予算」「施設・設備」は減少傾向にある。

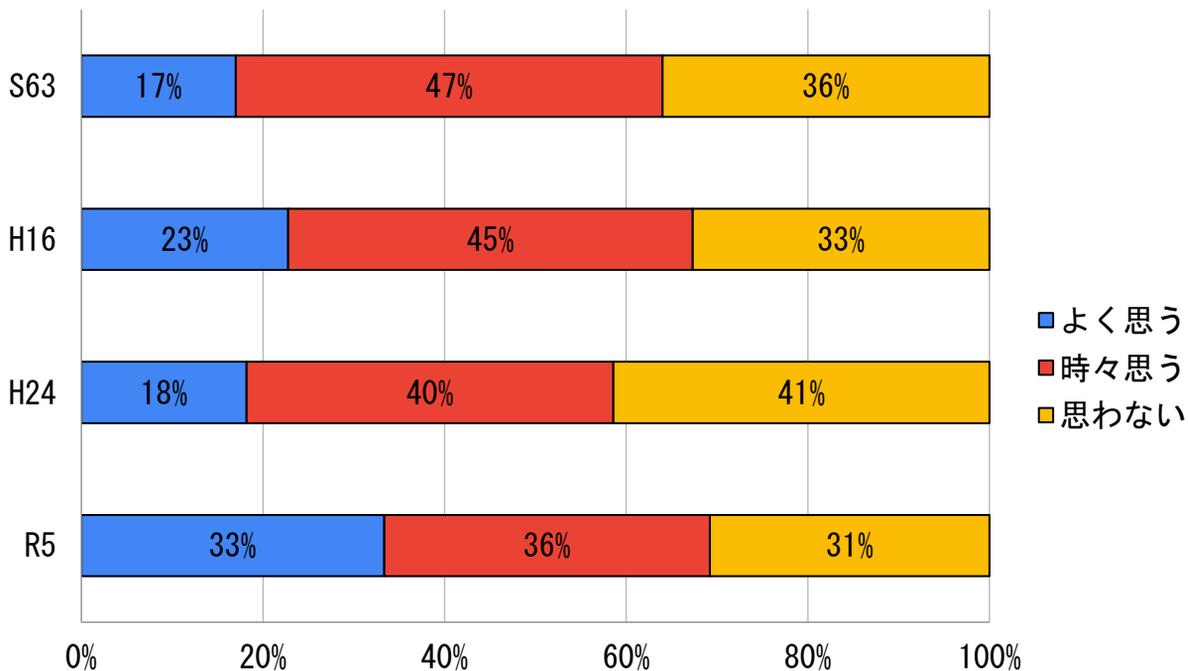
「特にない」は昭和63年に34%であったが、前回・今回と14%程度となり、実に8割を超える顧問が何らかの指導上の支障を感じながら指導に当たっているといえる。

そして、その問題は予算や施設等の「モノ・カネ」ではなく、顧問自身の多忙感や部員不足等の「ヒト」の問題であることが伺える。

それらのことが、前述した部活動に対するモチベーション低下につながっていると考えられる。

設問21 あなたは現在、部活動の顧問を負担に思うことがありますか。

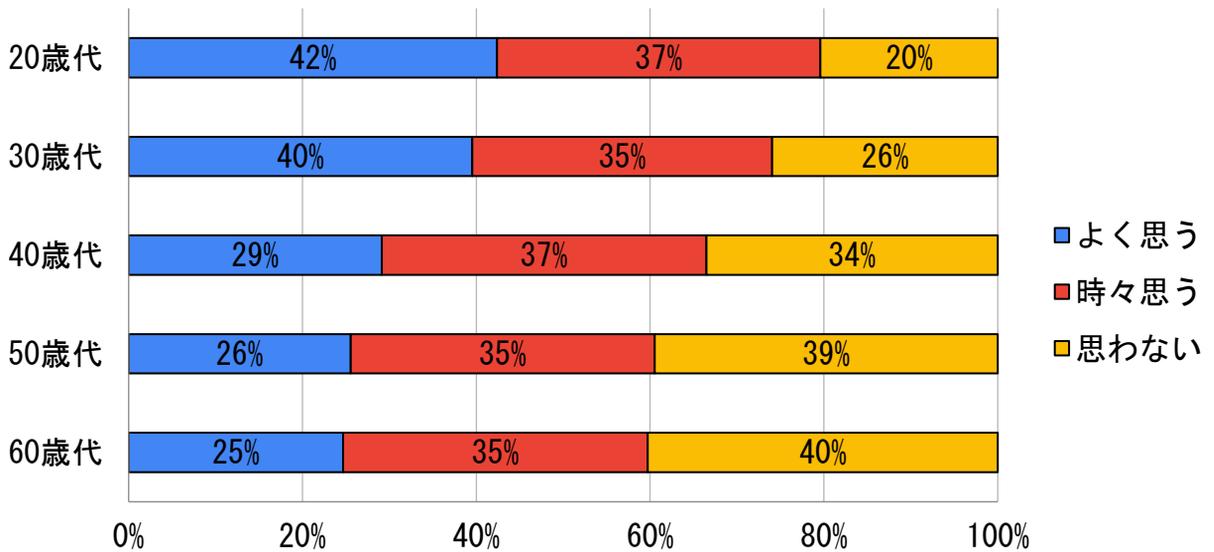
選択肢	S63	H16	H24	R5
よく思う	17%	23%	18%	33%
時々思う	47%	45%	40%	36%
思わない	36%	33%	41%	31%



負担に思う割合が約7割となり、過去最大の数値となった。特に「よく思う」は初回調査と比較して約2倍となった。

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
よく思う	42%	40%	29%	26%	25%
時々思う	37%	35%	37%	35%	35%
思わない	20%	26%	34%	39%	40%

R5 年代別集計

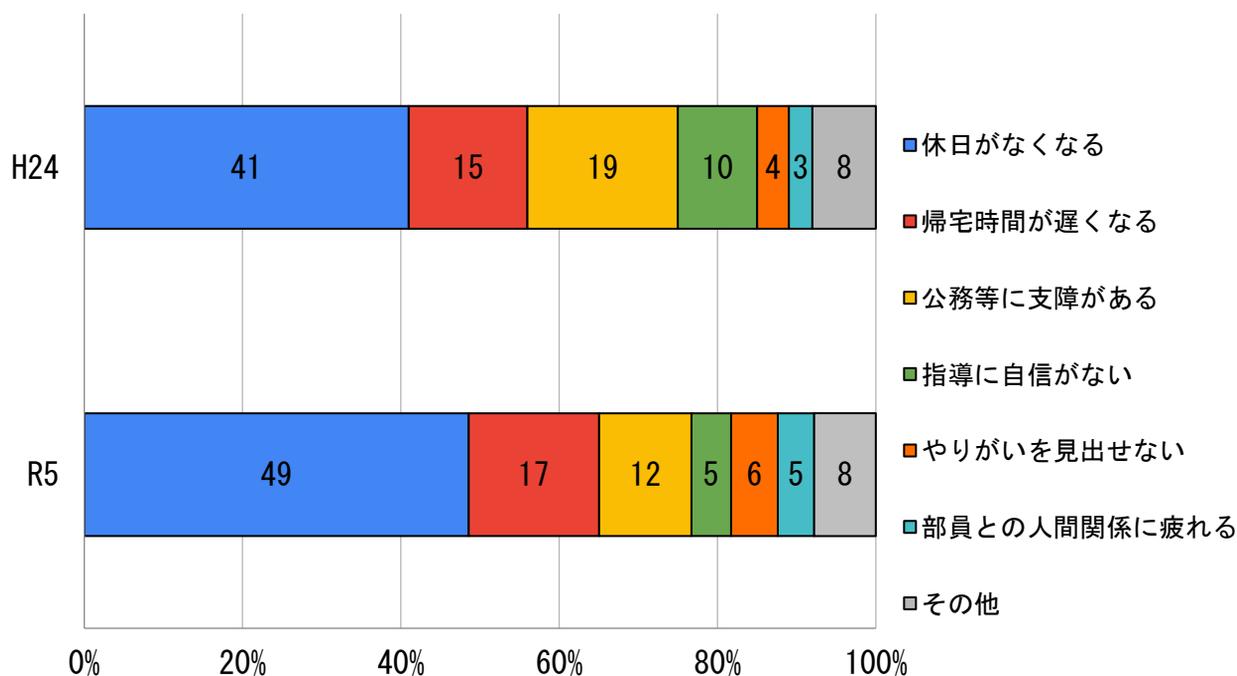


若い年代ほど負担によく思う割合が高く、20代では実に4割を超えている。一方で、50・60代では思わない割合が4割と高い。

これらの結果から、部活動に対する世代間の意識差が存在することが明らかとなった。若い世代は部活をやってこなかった人も多く、教員になった理由として部活動指導があまり関係していないと推察される。50、60代は指導を通して部活動の教育的効果を実感していることが理由と推察される。

設問22 設問21で「よく思う」または「時々思う」と答えた方は「その理由」を下記から選んでください。

選択肢	H24	R5
休日がなくなる	41%	49%
帰宅時間が遅くなる	15%	17%
公務等に支障がある	19%	12%
指導に自信がない	10%	5%
やりがいを見出せない	4%	6%
部員との人間関係に疲れる	3%	5%
その他	8%	8%

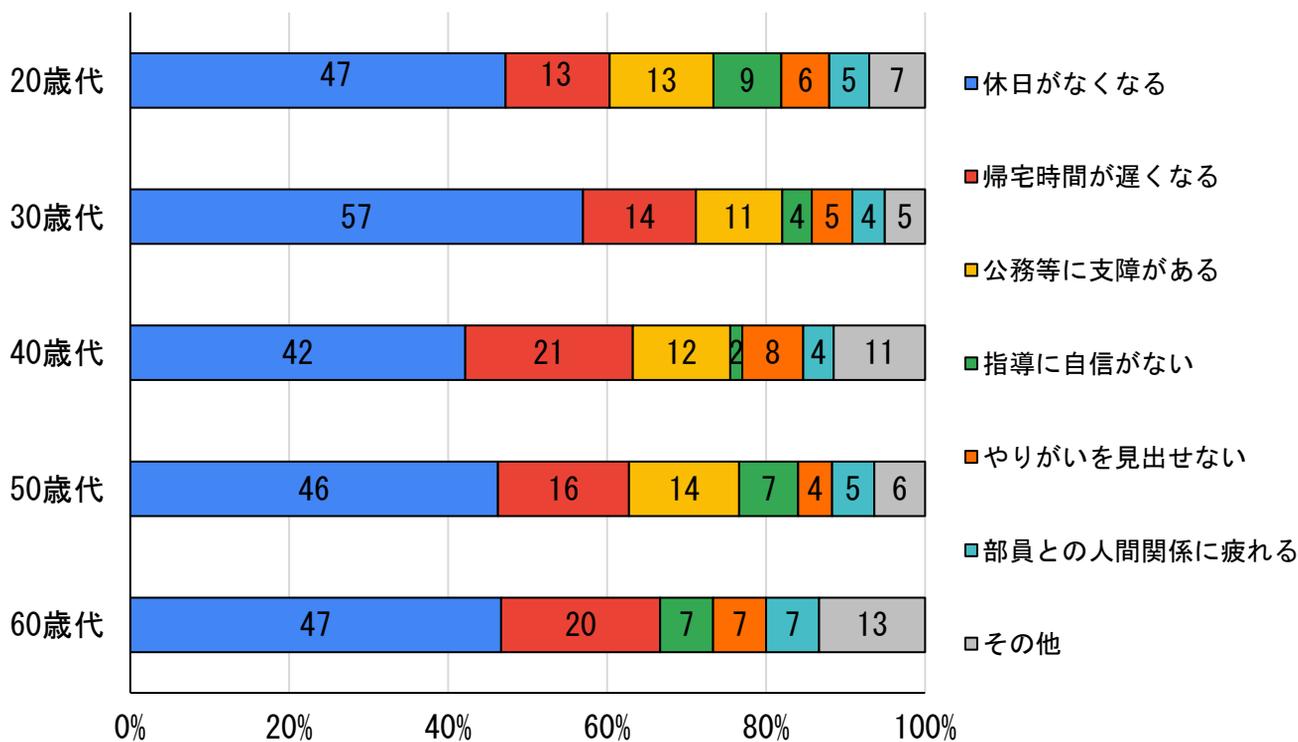


「休日がなくなる」「帰宅時間が遅くなる」が増加し、6割を超えていることから、負担を感じる主たる理由が時間外勤務の増加によるプライベートの時間の減少にあることが伺える。
また、「公務等に支障がある」が減少していることから、主に休日における活動に負担を感じていることが考えられる。

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
休日がなくなる	47%	57%	42%	46%	47%
帰宅時間が遅くなる	13%	14%	21%	16%	20%
公務等に支障がある	13%	11%	12%	14%	0%
指導に自信がない	9%	4%	2%	7%	7%
やりがいを見出せない	6%	5%	8%	4%	7%
部員との人間関係に疲れる	5%	4%	4%	5%	7%
その他	7%	5%	11%	6%	13%

※ 20歳代 (199人)、30歳代 (295人)、40歳代 (261人)、50歳代 (188人)、60歳代 (45人)

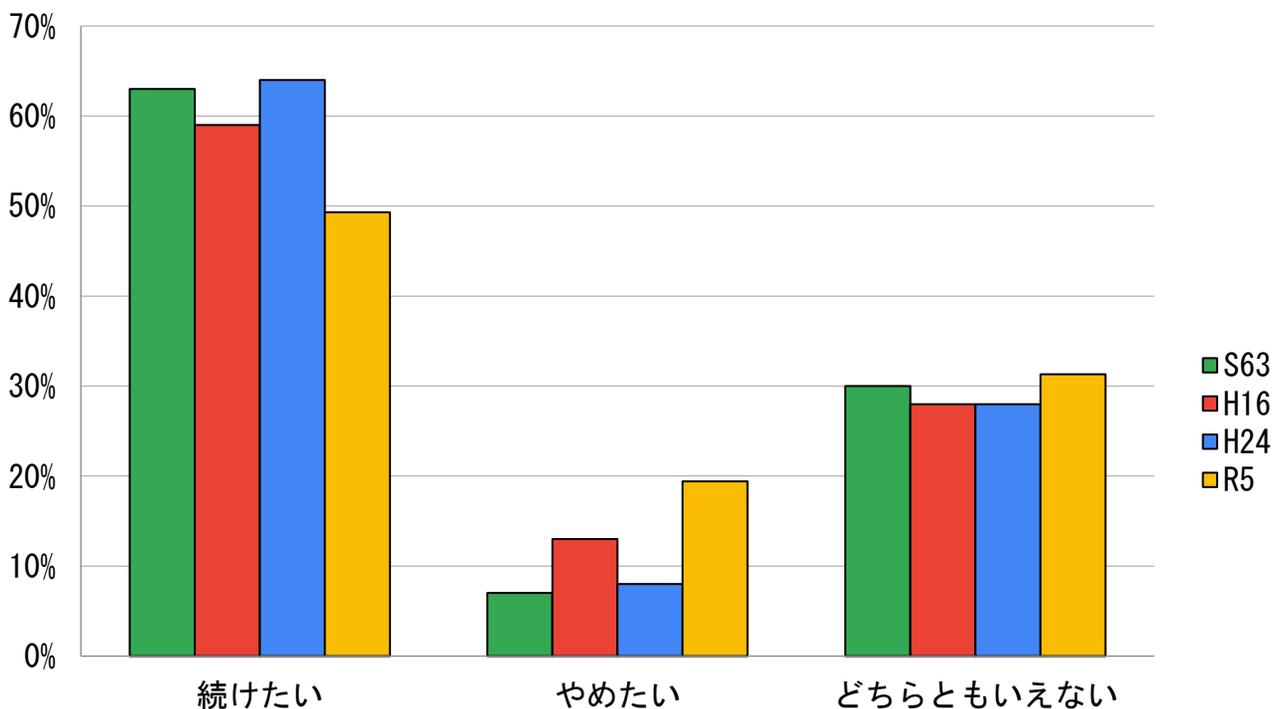
R5 年代別集計



いずれの年代においても、「休日がなくなる」「帰宅時間が遅くなる」が6割を超えており、第一の問題であるといえる。

設問23 あなたはこれからも現在の部活動の顧問を続けたいですか。

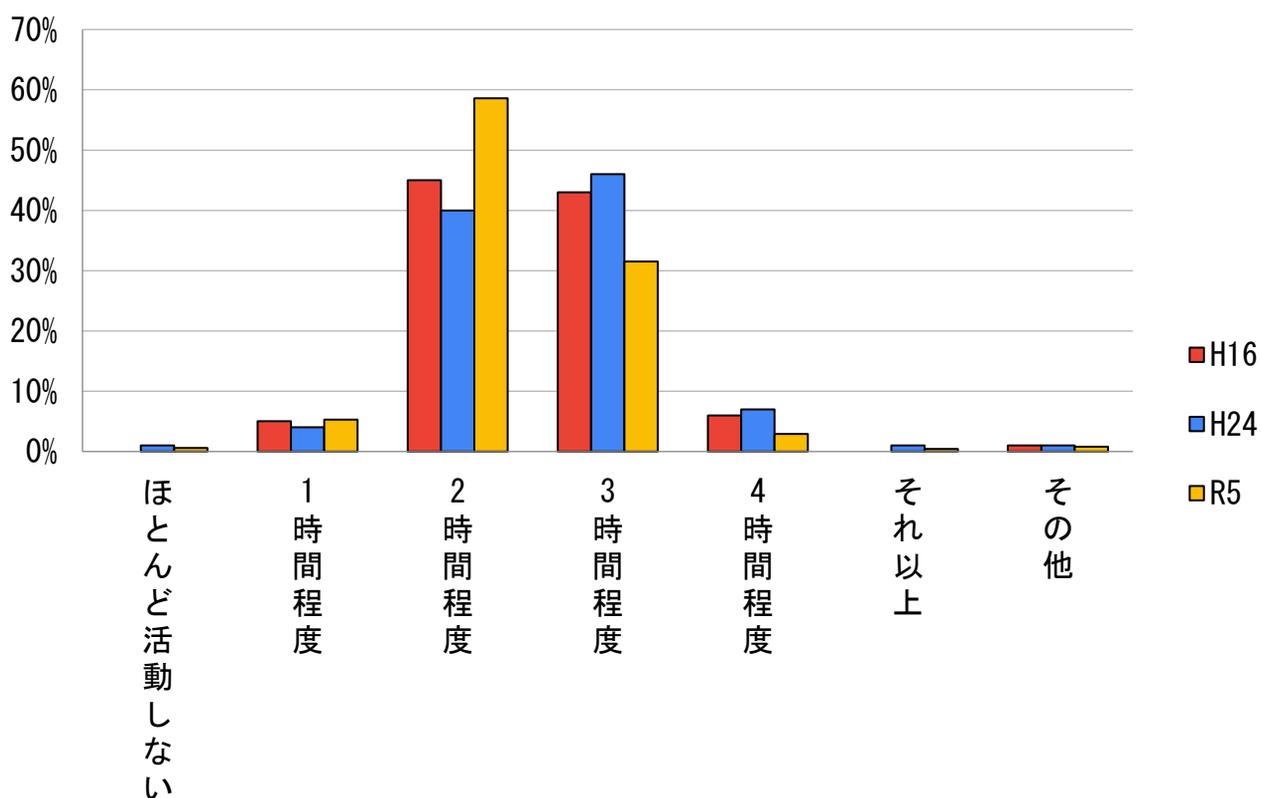
選択肢	S63	H16	H24	R5
続けたい	63%	59%	64%	49%
やめたい	7%	13%	8%	19%
どちらともいえない	30%	28%	28%	31%



前回調査までは変動の少ない質問項目であったが、今回の調査では「続けたい」が15%減少し、6割強から5割にまで下がった。
また、「やめたい」が増加し、1割前後であったのが約2割に達する結果となった。

設問24 平日の平均活動時間はどれくらいですか。

選択肢	H16	H24	R5
ほとんど活動しない		1%	1%
1時間程度	5%	4%	5%
2時間程度	45%	40%	59%
3時間程度	43%	46%	32%
4時間程度	6%	7%	3%
それ以上		1%	0%
その他	1%	1%	1%

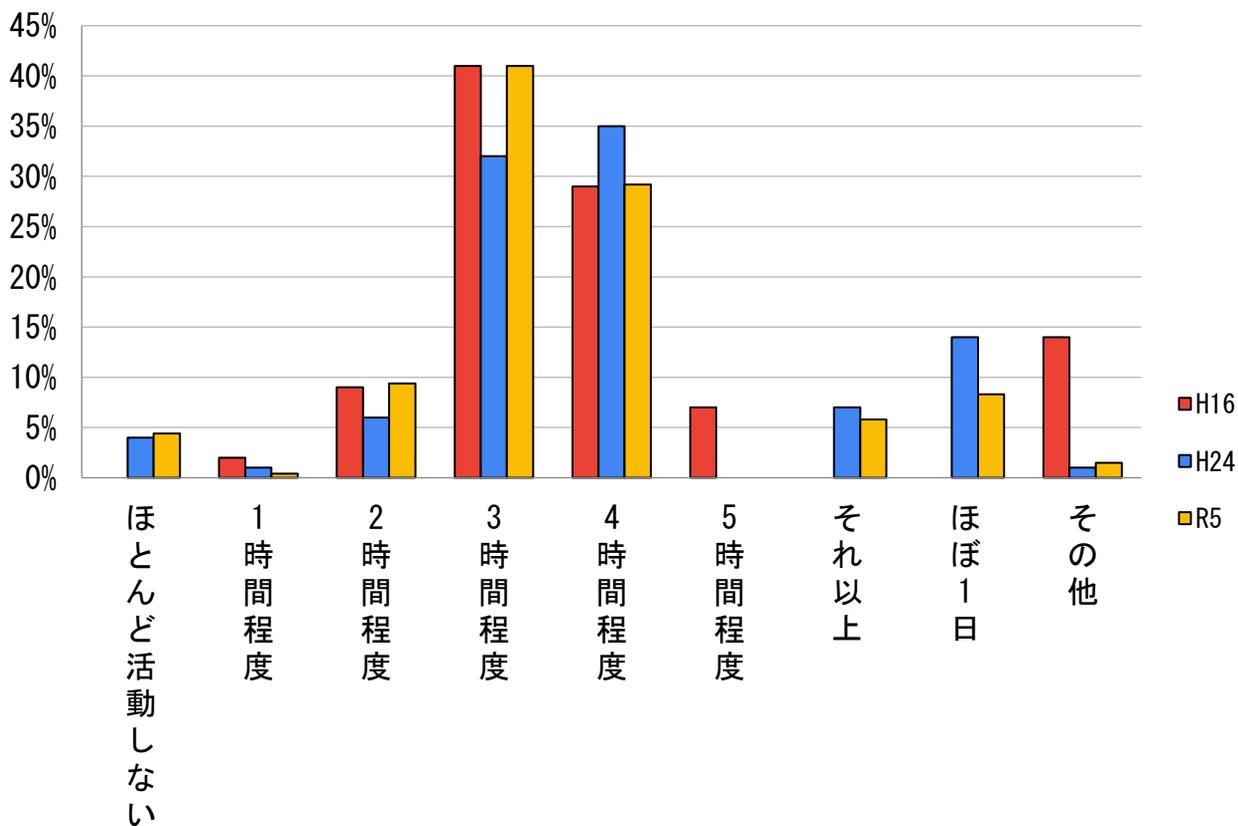


前回調査までは大きな変動の無い項目であったが、今回は「2時間程度」が大幅に増加し、3時間以上の活動が減少した。

部活動ガイドラインに準拠した活動時間に移行しているため、全体的に活動時間は短くなる傾向にあるといえる。

設問25 休日の平均活動時間はどれくらいですか。

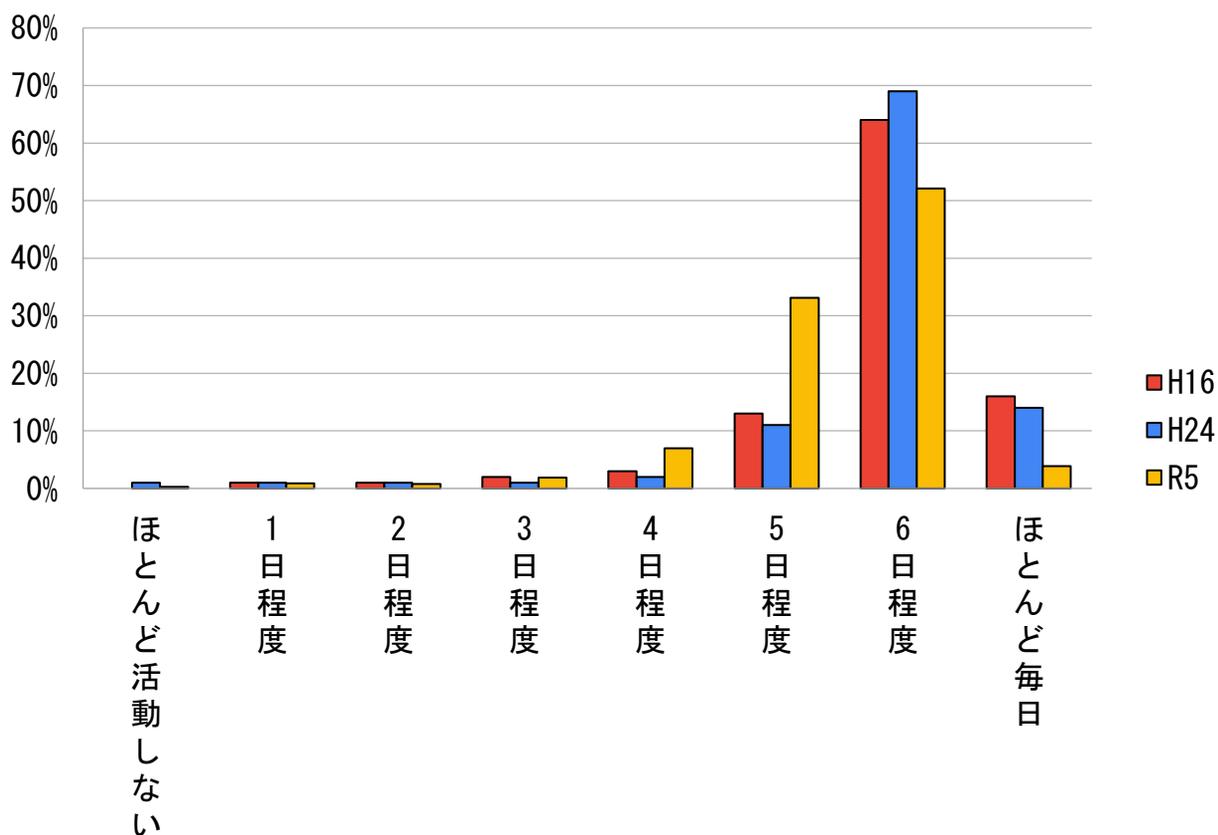
選択肢	H16	H24	R5
ほとんど活動しない		4%	4%
1時間程度	2%	1%	0%
2時間程度	9%	6%	9%
3時間程度	41%	32%	41%
4時間程度	29%	35%	29%
5時間程度	7%		
それ以上		7%	6%
ほぼ1日		14%	8%
その他	14%	1%	2%



3～4時間が7割を占め、「ほぼ1日」が減少した。全体として短い活動時間に移行しつつある。

設問26 週あたりの平均活動日数は何日ですか。

選択肢	H16	H24	R5
ほとんど活動しない		1%	0%
1日程度	1%	1%	1%
2日程度	1%	1%	1%
3日程度	2%	1%	2%
4日程度	3%	2%	7%
5日程度	13%	11%	33%
6日程度	64%	69%	52%
ほとんど毎日	16%	14%	4%

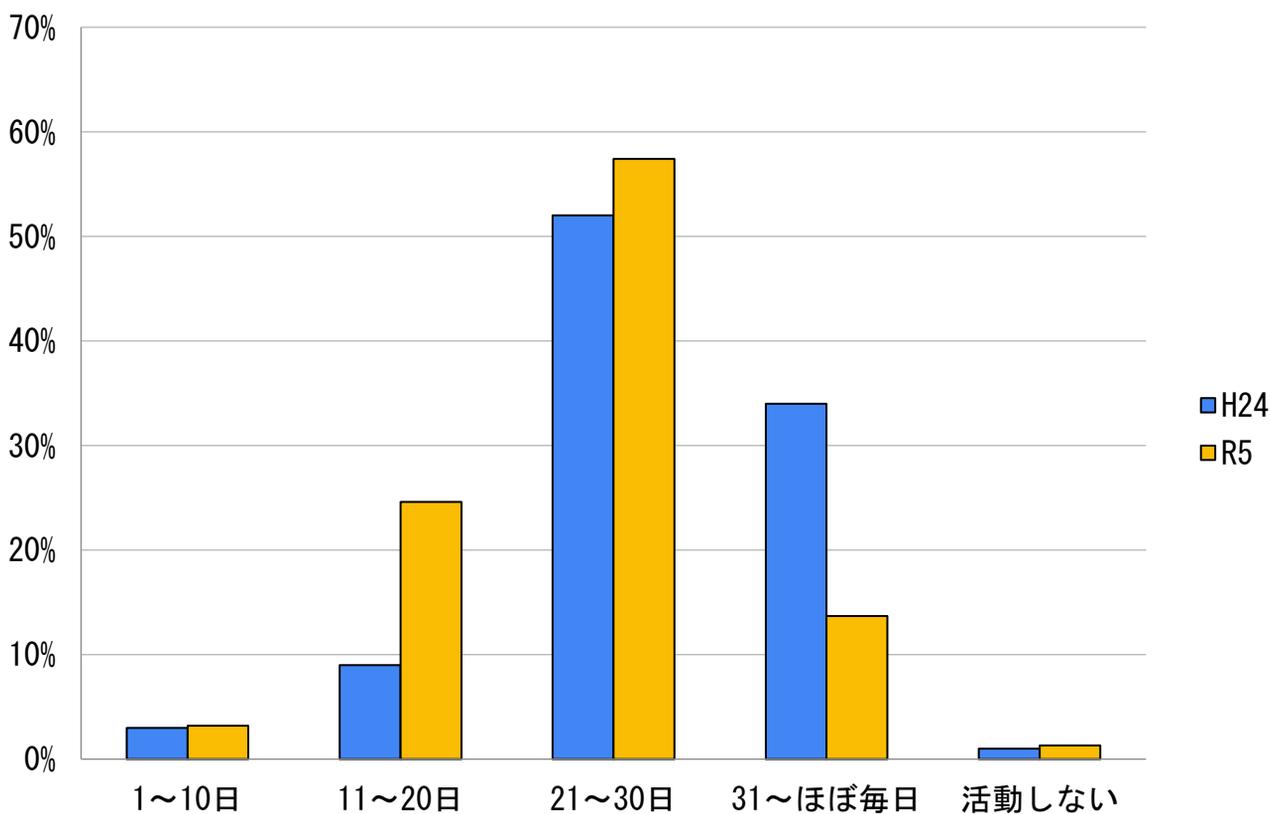


週6日以上活動する部活動は減少し（8割→6割弱）、4～5日程度の活動が増加した（1割台→4割）。

前述のとおり、部活動ガイドラインに準拠した活動に移行している。

設問27 夏季休業中の平均活動日数は何日ですか。

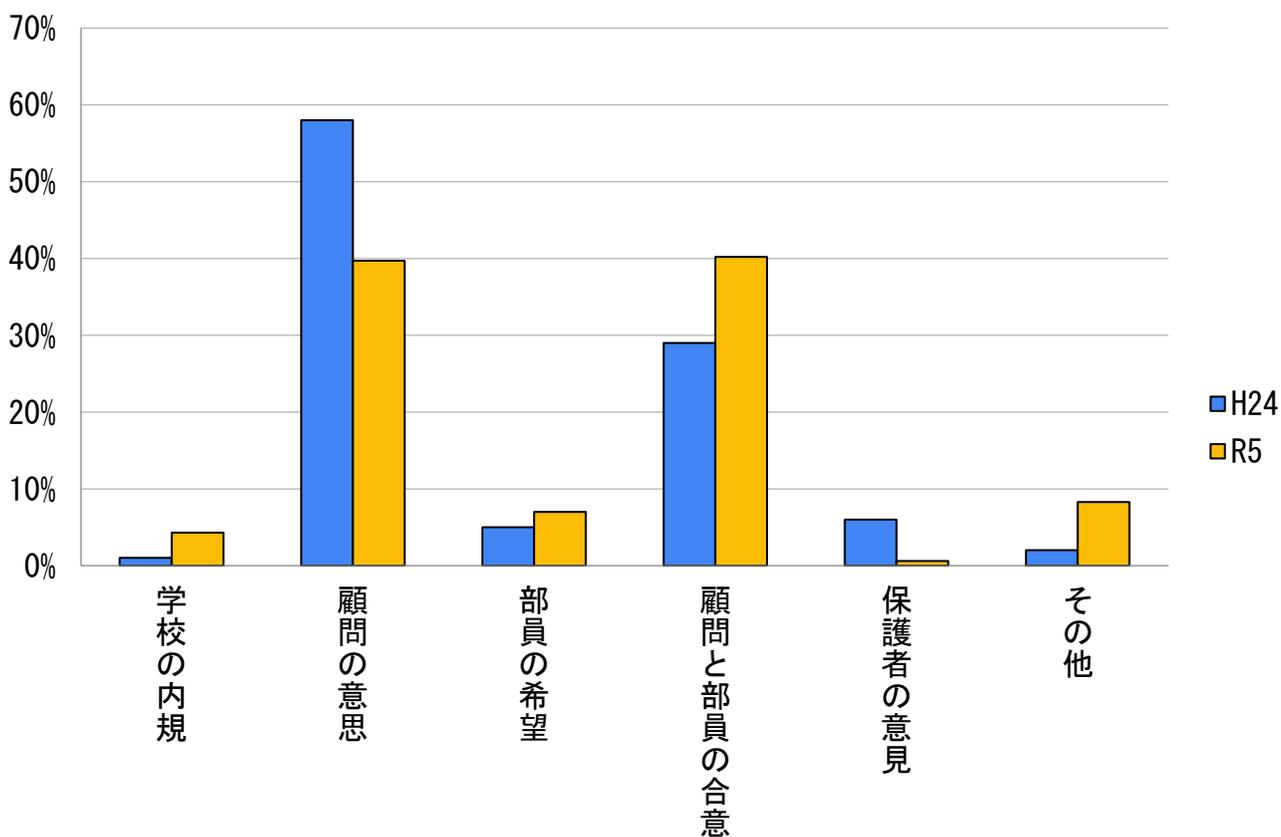
選択肢	H24	R5
1～10日	3%	3%
11～20日	9%	25%
21～30日	52%	57%
31～ほぼ毎日	34%	14%
活動しない	1%	1%



「ほぼ毎日」が大幅に減少し、「11～20日」が大幅に増加した。

設問28 夏季休業中の活動日数を決めている最も大きな理由は何ですか。

選択肢	H24	R5
学校の内規	1%	4%
顧問の意思	58%	40%
部員の希望	5%	7%
顧問と部員の合意	29%	40%
保護者の意見	6%	1%
その他	2%	8%



「顧問の意思」が減少し、「顧問と部員との合意」が増加した。

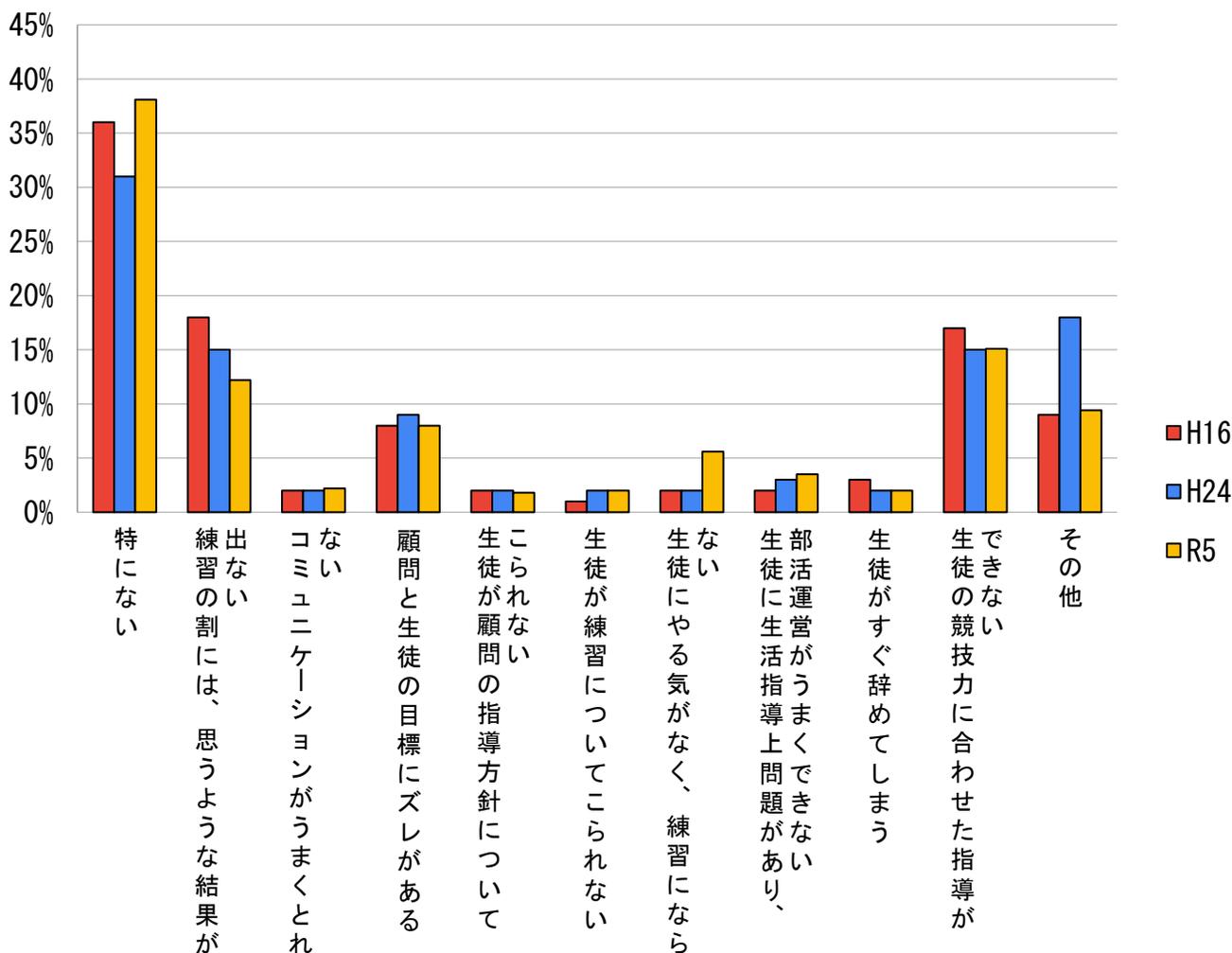
顧問の意思のみで活動期間を決める傾向が強かった平成24年から、部員の合意を求めるようになった。

保護者への理解が増加せず、むしろ減っていることから、あくまで生徒の活動意欲を汲み取って運営する傾向にある。

また、学校の内規についての項目の増加は部活動ガイドラインが影響を及ぼしていると思われる。

設問29 部員を指導していく上での悩みはありますか。
いちばん近いものを一つ選んでください。

選択肢	H16	H24	R5
特にない	36%	31%	38%
練習の割には、思うような結果が出ない	18%	15%	12%
コミュニケーションがうまくとれない	2%	2%	2%
顧問と生徒の目標にズレがある	8%	9%	8%
生徒が顧問の指導方針についてこられない	2%	2%	2%
生徒が練習についてこられない	1%	2%	2%
生徒にやる気がなく、練習にならない	2%	2%	6%
生徒に生活指導上問題があり、部活運営がうまくできない	2%	3%	4%
生徒がすぐ辞めてしまう	3%	2%	2%
生徒の競技力に合わせた指導ができない	17%	15%	15%
その他	9%	18%	9%

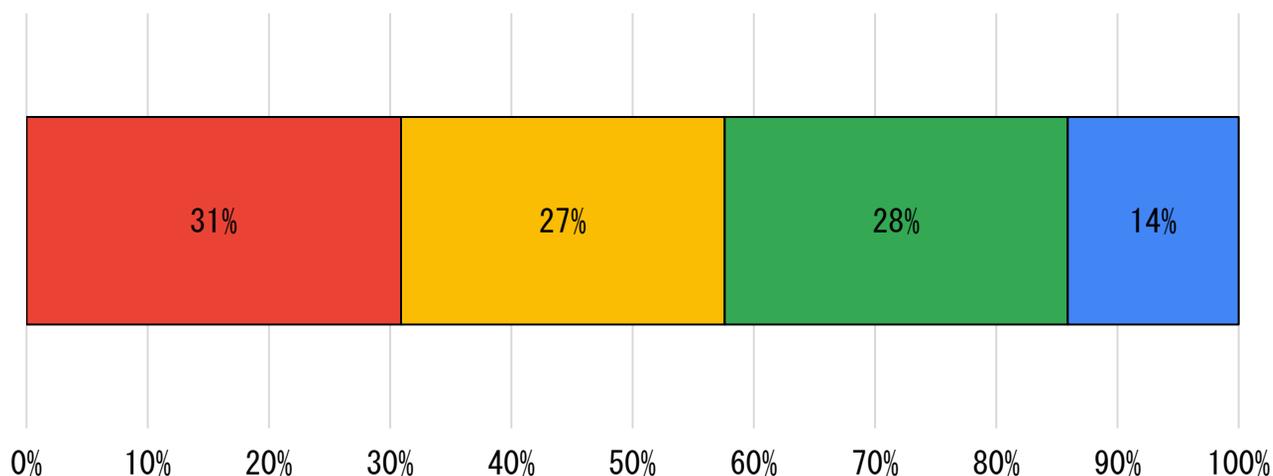


「練習の割には、思うような結果が出ない」が減少傾向にある。
また「生徒の競技力に合わせた指導ができない」が多い傾向にあることは変わらない。

運動部活動の地域移行に関する質問

設問30 今後、高等学校における運動部活動は地域移行していきべきだと思いますか。

選択肢	R5
そう思う	31%
どちらかといえばそう思う	27%
あまりそう思わない	28%
そう思わない	14%



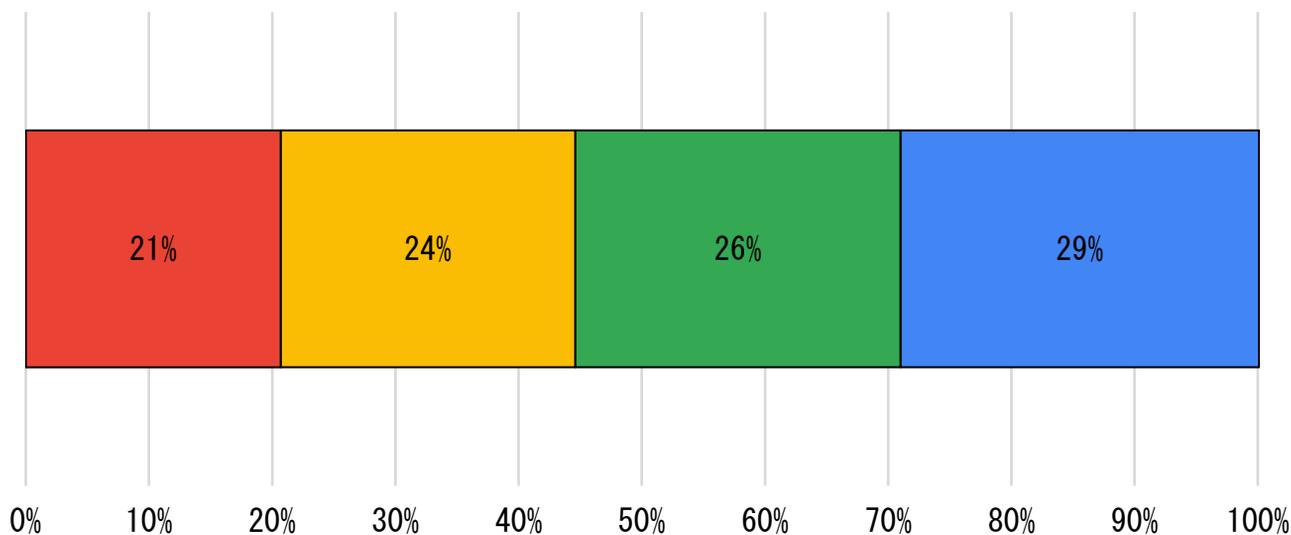
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

肯定的意見（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）が約6割。

否定的意見（「あまりそう思わない」「そう思わない」）が約4割。

設問31 仮に、兼職兼業等の仕組みが整備された場合に、地域のスポーツ団体等で指導者として携わりたいと思いますか。

選択肢	R5
そう思う	21%
どちらかといえばそう思う	24%
あまりそう思わない	26%
そう思わない	29%

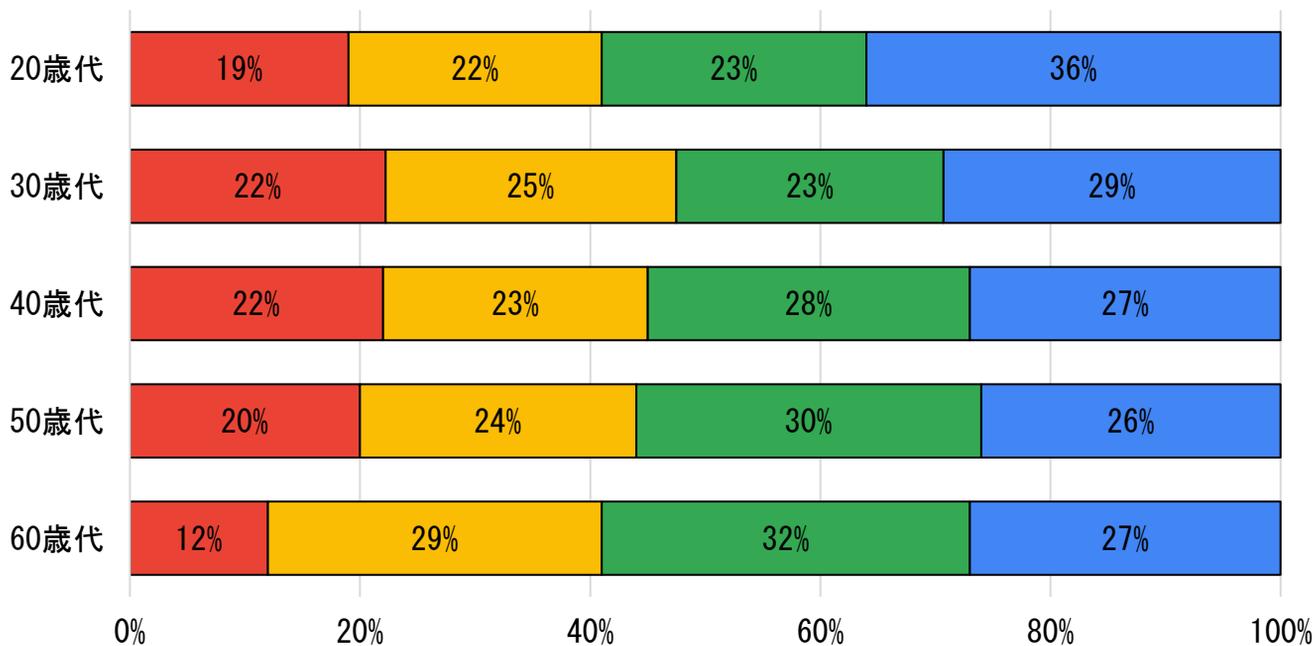


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

肯定的意見(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」)が45%。
否定的意見(「あまりそう思わない」「そう思わない」)が55%。

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
そう思う	19%	22%	22%	20%	12%
どちらかといえばそう思う	22%	25%	23%	24%	29%
あまりそう思わない	23%	23%	28%	30%	32%
そう思わない	36%	29%	27%	26%	27%

年代別集計

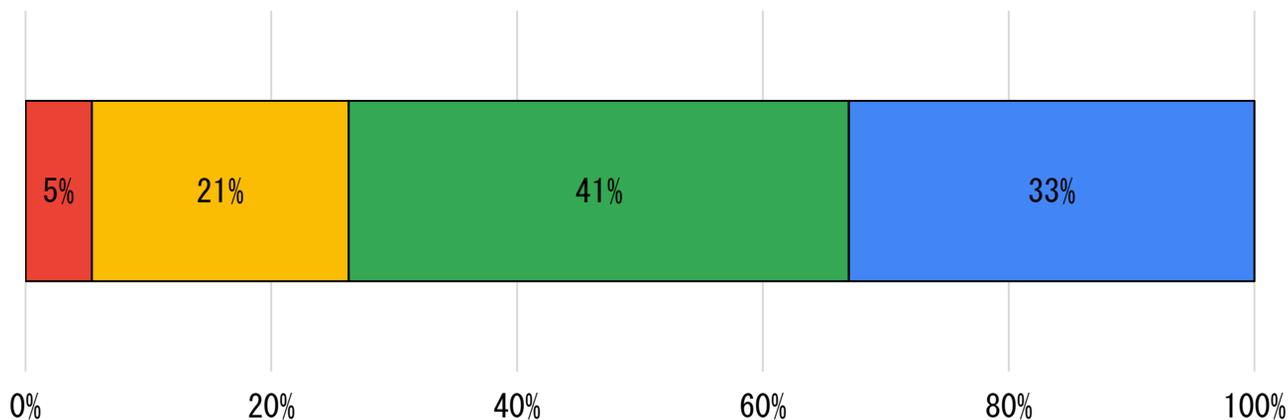


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

「そう思わない」の項目は、若い年代ほど高い割合となった。

設問32 地域のスポーツ団体での指導の際に、どのような報酬・条件であれば、携わろうと思いますか。

選択肢		R5
無償でも携わりたい		5%
現行と同じ程度（特殊勤務手当等）の報酬・条件であれば携わりたい		21%
自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたい		41%
携わりたくない		33%

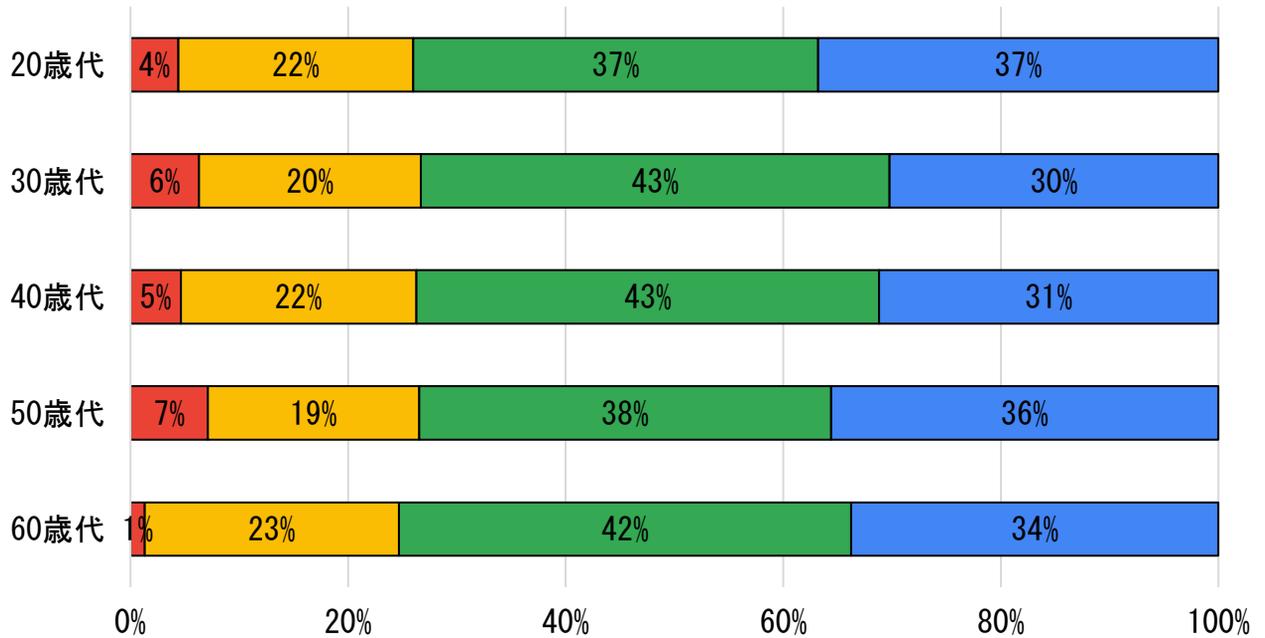


- 無償でも携わりたい
- 現行と同じ程度（特殊勤務手当等）の報酬・条件であれば携わりたい
- 自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたい
- 携わりたくない

約4割が自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたいと考えている。また、現行の報酬程度でよいと考えている割合は1/4程度しかいないことが分かる。条件に関わらず、携わりたくない人が1/3程度となっている。

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
無償でも携わりたい	4%	6%	5%	7%	1%
現行と同じ程度（特殊勤務手当等）の報酬・条件であれば携わりたい	22%	20%	22%	19%	23%
自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたい	37%	43%	43%	38%	42%
携わりたくない	37%	30%	31%	36%	34%

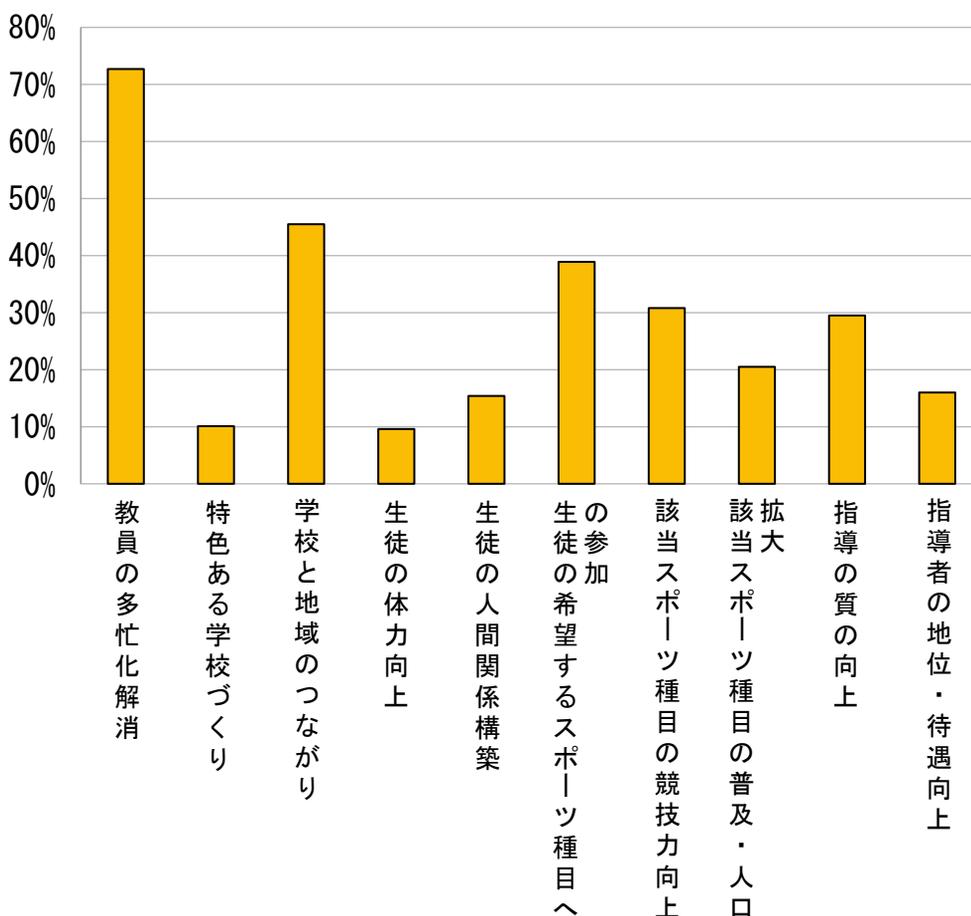
年代別集計



- 無償でも携わりたい
- 現行と同じ程度（特殊勤務手当等）の報酬・条件であれば携わりたい
- 自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたい
- 携わりたくない

設問33 あなたが指導する部活動が地域移行した場合に、良い影響が出ると思う事柄について、選択してください。（複数回答可）

選択肢	R5
教員の多忙化解消	73%
特色ある学校づくり	10%
学校と地域のつながり	46%
生徒の体力向上	10%
生徒の人間関係構築	15%
生徒の希望するスポーツ種目への参加	39%
該当スポーツ種目の競技力向上	31%
該当スポーツ種目の普及・人口拡大	21%
指導の質の向上	30%
指導者の地位・待遇向上	16%

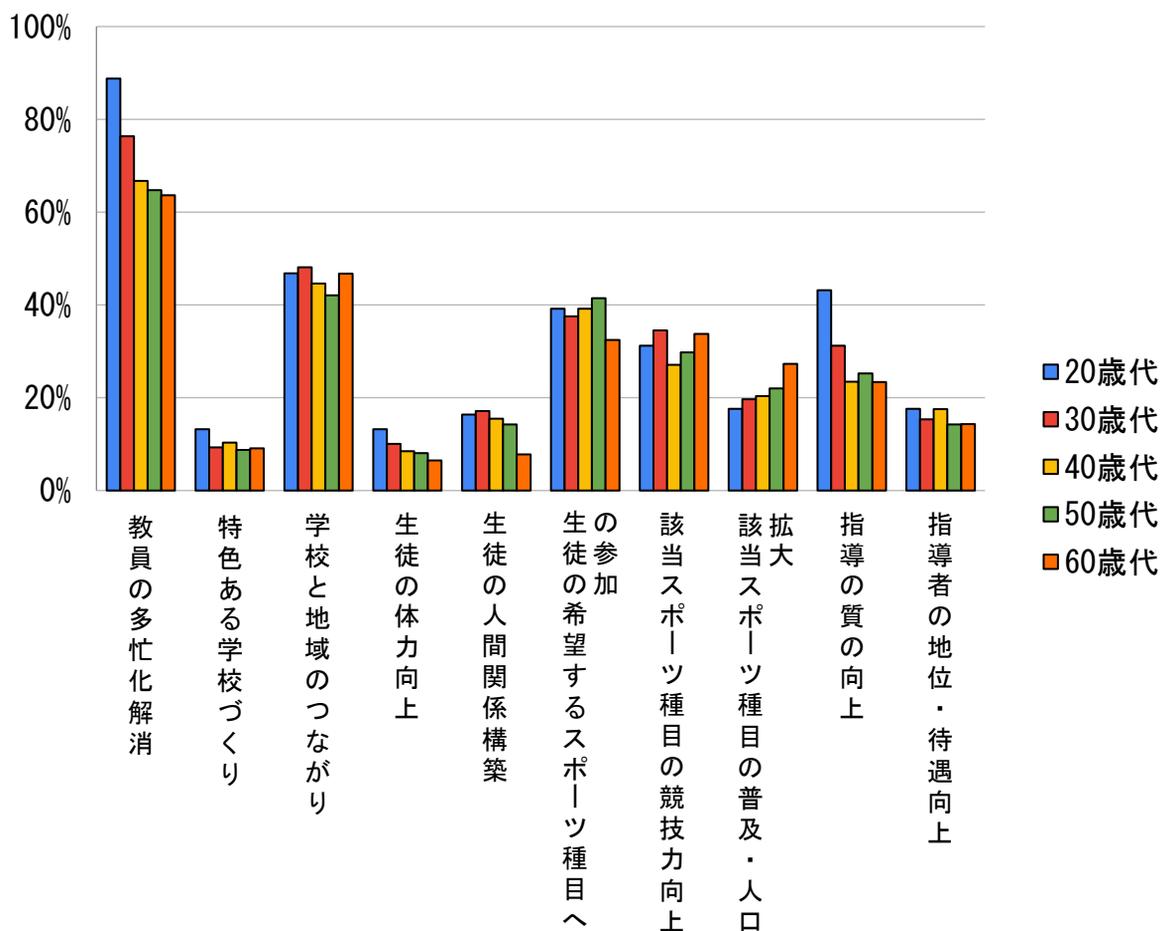


「教員の多忙化解消」が7割を超えており、多くの顧問が一定の効果を期待していることが伺える。

また、「学校と地域のつながり」「生徒の希望するスポーツ種目への参加」「該当スポーツ種目の競技力向上」が3割を超えた。

選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
教員の多忙化解消	89%	76%	67%	65%	64%
特色ある学校づくり	13%	9%	10%	9%	9%
学校と地域のつながり	47%	48%	45%	42%	47%
生徒の体力向上	13%	10%	9%	8%	6%
生徒の人間関係構築	16%	17%	15%	14%	8%
生徒の希望するスポーツ種目への参加	39%	38%	39%	41%	32%
該当スポーツ種目の競技力向上	31%	35%	27%	30%	34%
該当スポーツ種目の普及・人口拡大	18%	20%	20%	22%	27%
指導の質の向上	43%	31%	23%	25%	23%
指導者の地位・待遇向上	18%	15%	18%	14%	14%

年代別集計



年代によって大きな差があった項目

「教員の多忙化解消」「指導の質の向上」であり、世代間による考え方の違いが浮き彫りとなった。

若い年代ほど高い割合となった項目

「教員の多忙化解消」「生徒の体力向上」「生徒の人間関係構築」「指導の質の向上」

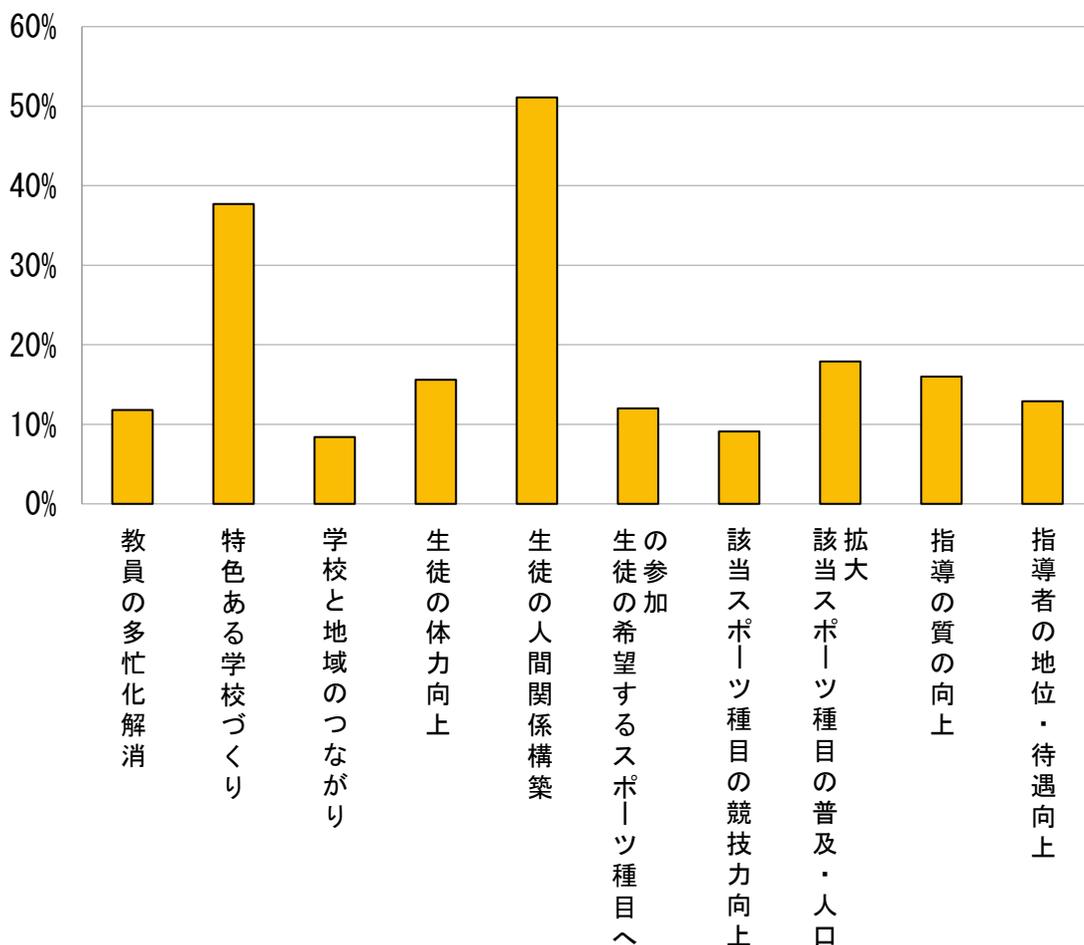
年代が上がるにつれて高い割合となった項目

「該当スポーツ種目の普及・人口拡大」

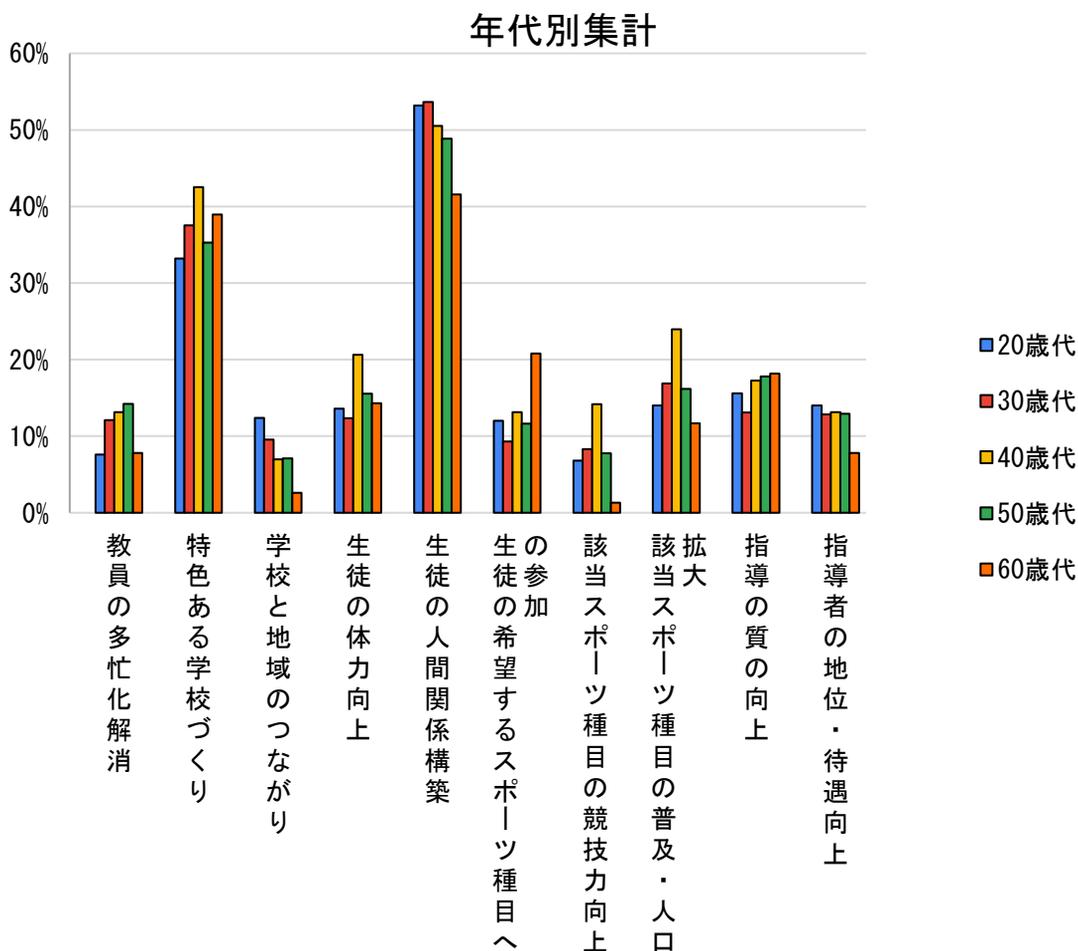
世代間による考え方の違いが表れた。

設問34 あなたが指導する部活動が地域移行した場合に、悪い影響が出ると思う事柄について、選択してください。（複数回答可）

選択肢	R5
教員の多忙化解消	12%
特色ある学校づくり	38%
学校と地域のつながり	8%
生徒の体力向上	16%
生徒の人間関係構築	51%
生徒の希望するスポーツ種目への参加	12%
該当スポーツ種目の競技力向上	9%
該当スポーツ種目の普及・人口拡大	18%
指導の質の向上	16%
指導者の地位・待遇向上	13%



選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
教員の多忙化解消	8%	12%	13%	14%	8%
特色ある学校づくり	33%	38%	43%	35%	39%
学校と地域のつながり	12%	10%	7%	7%	3%
生徒の体力向上	14%	12%	21%	16%	14%
生徒の人間関係構築	53%	54%	51%	49%	42%
生徒の希望するスポーツ種目への参加	12%	9%	13%	12%	21%
該当スポーツ種目の競技力向上	7%	8%	14%	8%	1%
該当スポーツ種目の普及・人口拡大	14%	17%	24%	16%	12%
指導の質の向上	16%	13%	17%	18%	18%
指導者の地位・待遇向上	14%	13%	13%	13%	8%



この項目でも世代間による考え方の違いが表れた。

若い年代ほど高い割合となった項目

「学校と地域のつながり」「生徒の人間関係構築」

年代が上がるにつれ高い割合となった項目

「教員の多忙化解消」

また40代の危惧感が高かった項目がある。「特色ある学校づくり」「生徒の体力向上」「該当スポーツの競技力向上」「該当スポーツの普及・人口拡大」であった。学校運営や各種スポーツの運営に中核として携わる年代であり、他の年代よりも上記項目に問題意識を感じていることが伺える。

まとめ

運動部顧問意識調査は、昭和から平成、そして令和と時代が大きく変化する中で定期的に行ってきた。運動部活動が環境面の変化に対してどう変容してきたか、また指導する顧問の状況がどう変化してきたかを把握するものである。

今回の調査で4回目となり、働き方改革の進む中で新たに中学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への環境整備が進められていることもあり、顧問の意識にも少なからず影響があるものと考ええる。

このような背景の中、過去の調査との比較を中心に分析を行った。ここでは、更に考察を加えまとめとする。

1 運動部活動を巡る状況について

(1) 年齢構成

設問4 [あなたの年齢を選んでください]によると、平成24年と比べて20歳代の割合が微増したが、運動部顧問の高齢化の傾向は続いている。特に、60歳代の割合は、平成24年と比べて4ポイント増加しており、定年延長の影響が伺える。

参考として令和4年度運動部活動顧問調査から、公立高校の全教諭の年齢構成は、概ね20歳代18%、30歳代24%、40歳代25%、50歳代26%となっており、年代が上がるにつれて運動部顧問に就く率が高いといえる。

(2) 顧問数・副顧問の役割

設問7 [顧問数]によると、昭和63年には「顧問数1人」が37%であったものが、平成16年には12%となり、今回においても平成24年と同様に7%であったことから、複数顧問体制が一般化したといえる。そして、「顧問数2人」が平成24年と比べて8%減少し、「3人・4人・5人」が増加したことから、特に3人以上の体制を採用する部活動が増えている。

設問8 [副顧問の役割]によると、副顧問の部活動への関わり方は平成24年と比べてさほど違いは見られなかったが、「副顧問は複数おり、運営に携わらない副顧問もいる」が5ポイント増加した。設問7と合わせて考えると、複数顧問体制を採用している現場は増えたが、特に部活動に関わらない顧問は1/3程度と過去調査より増加しており、正顧問の負担軽減にはつながっていないといえる。

(3) コーチ・トレーナー

設問11 [コーチまたはトレーナーの有無]によると、平成24年と比べて「コーチ、トレーナーのどちらもいない」が69%から58%へと減り、42%もの部で外部スタッフを受け入れている結果となり、外部スタッフの活用は調査毎に増加傾向にある。設問19 [コーチの必要性]によると、コーチが必要との回答が約7割を占め、そのニーズは依然として高い。その内訳や設問17までを併せて考えると、コーチ・トレーナーの活用増加は競技力向上に向けられた補強だけでなく、専門指導のできる外部人材を活用している傾向が伺える。

(4)活動時間・活動日数

設問 24 [平日の平均活動時間]によると、前回調査までは大きな変動の無い項目であったが、今回は「2時間程度」が40%から59%と大幅に増加し、「3時間程度」が46%から32%と大幅に減少した。また、設問 25 [休日の平均活動時間]によると、「ほぼ1日」が減少し、「3～4時間」が70%を占めた。平日、休日問わず部活動ガイドラインに準拠した活動時間に移行しているため、活動時間は短くなる傾向にあるといえる。

設問 26 [週あたりの平均活動日数]によると、週4～5日程度の活動が平成24年と比べて13%から40%と大幅に増加し、週6日以上活動する部活動は83%から56%と大幅に減少した。前述のとおり部活動ガイドラインに準拠した活動に移行している。

2 運動部顧問の意識の変化について

(1)負担感の増大について

設問 21 [顧問の負担]では、部活動顧問を負担に思う割合が約7割となり、「よく思う」は初回調査と比べて約2倍となった。また、世代間の意識差は顕著であり、若い年代ほど負担に思う割合が高く、50・60代と比較すると「よく思う」と「思わない」の割合がほぼ真逆となる結果となった。

また、設問 22 [負担の理由]では、負担感を感じる主たる理由は「休日がなくなる」「帰宅時間が遅くなる」「公務等に支障がある」であり、特に休日・帰宅時間の項目が増大した。さらに、設問 20 [指導上の支障]では、指導上の支障となる要因として「公務多忙」が最も多かった。

これらのことから、プライベートの時間が割かれてしまうことが主たる理由であり、公務多忙や待遇等とも相まって、ワークライフバランスを確保できないことに負担感を感じていることが推察されるとともに、この傾向は若い世代ほど強く、学校運営や部活動をめぐる構造的な課題に対して疑問を感じていることが推察される。

(2)志向の変化について

設問 14 [部活動の目標]では、全国・東海・県といった上位の大会を目標とする回答が多数であることは変わらないものの、過去調査と比較してその割合は減少傾向にあり、地区予選レベルを目標とする割合が増えた。また、設問 12 [重視する指導方針]では、人間性の向上が多数であることは変わらなかったが、「技術向上・勝利」が減少し、「楽しく活動」や「方針無し」が増加した。

これらのことから、競技志向が多数であることは変わらないものの、その割合は減少しており、活動自体の楽しさを志向する割合が増えてきていることが分かる。

また、設問 18 [強化に必要なもの]・設問 20 [指導上の支障]では、部員数確保が課題と考える割合が増えており、強化すること以前に試合や平時の活動に支障をきたしている現状が増えていることも上記志向の変化の一因となっているのではないだろうか。

さらに、設問 17 [不安感を改善する努力]では、「思い通りの指導ができていない」ことを改善する努力として、「講習会・研修会」「指導書」といった行動を取る割合が減り、「特に何もしていない」割合が増えた。部活動指導に対してのモチベーションが低下していることが伺える。

以上のことから、競技志向の割合が減り、指導へのモチベーションが低下していることや、負担感が増大しており、その傾向は若い年代ほど顕著であることが分かった。

今後これらの傾向がより強くなっていく可能性は高く、部活動の構造的な問題に対する何らかの改革が求められると考える。

3 運動部活動の地域移行について

今回の運動部顧問調査では、新たに部活動地域移行に関する質問を実施した。

令和4年12月にスポーツ庁・文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が発出され、それ以前に実施した平成24年の本調査では、「運動部活動はすべて地域スポーツクラブに移行すべきである」との回答が7%であったのに対し、設問30「高等学校における地域移行の是非」に「そう思う」との回答が31%であった。

スポーツ庁及び文化庁が示すガイドラインでは「国公立の高等学校段階については、義務教育修了後に多様な教育活動が行われている状況を踏まえつつ、生徒の心身の健全育成等の観点から、学校等の実情に応じて学校部活動の改革に取り組むことが望ましい。」とされていることから、いわゆる部活動の地域移行は公立中学校を対象としたものであったとしても、何らかの改革は求められる。

設問22「部活動を負担に思う理由」では「休日がなくなる」など部活動の従事時間からの負担感大きく、また、設問24[平日の活動時間]・設問25[休日の平均活動時間]・設問26[週あたりの平均活動日数]において、日々の部活動活動時間は減少傾向にあるものの、週6日以上実施している部活動が半数以上あるなど、依然として多数の学校が部活動ガイドライン以上の活動をしている実態が明らかとなった。

高等学校における運動部活動は、学校運営の柱の一つではあるものの、現在、教員の働き方改革の観点からも活動時間等の見直しが求められている。今後、持続可能な部活動を実施するためにも、まずは、顧問一人一人が部活動ガイドラインに則した活動をしていくことから始める必要があると考える。

運動部の活動は、より高い水準の能力や記録に挑戦する中で、スポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって親しむことのできるスポーツを見出す機会でもある。また、学校の活性化、生徒たちの体力低下に歯止めとなることが期待され、その活動は益々重要視されてくる。更に、生徒数の減少で部活動統廃合など運営が難しくなる中で、生徒の活動の機会を確保するためにも学校教育の一環としての部活動の持つ意義を確認し、継続した支援が求められている。

一方で、部活動を運営していく運動部顧問の先生方の健康面や安全面の配慮や部活指導の負担を軽減する手立ても必要となる。

今後この報告書が、現状の把握や指導上の課題解決の一助として運動部顧問の先生方の部活動運営に活用され、役立つことを期待したい。

付表 1

運動部顧問調査実施要項

1 調査の目的

学校の教育活動の一環として運動部活動が果たしてきた役割は大きなものであり、人間形成や生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた。また、顧問の熱意あふれる指導は、生徒の各競技における技術の習得や体力の養成にとどまらず、社会性の育成にもつながり、有為な人材を世に送り出してきた。

一方で、部活指導中の生徒に対する不適切な言動が、体罰やハラスメントにつながるケースも見受けられるなど、指導の資質向上や指導方法の改善、部活動改革が求められている。部活動改革の一つとしては、教員の働き方改革の観点から、時間外指導となる活動時間の短縮が求められている。今後は、運動部活動の教育的効果を最大限引き出し、持続可能な運動部活動の環境を整備するためにも、あらゆる角度から分析と方策を考えていくことが必要である。

静岡県高体連研究部では、実態把握や課題の解決のための一助となることを目的に部活動現場の状況や顧問の意識を調査しているものである。また、本調査は概ね10年ごとに実施し、過去に行った調査との比較や時代の変化に対応していく運動部活動の役割を確認するための分析を併せて行うものとする。

2 調査の対象

全日制高等学校運動部正顧問 全員

3 調査の方法

質問紙によるアンケート調査（回答はGoogleフォーム）

4 調査の内容

- ・種目 ・性別 ・年齢 ・所属校 ・教科 ・顧問数 ・副顧問の役割
- ・選手経験 ・顧問歴 ・コーチ、トレーナーの有無 ・指導方針 ・部目標
- ・指導力 ・部の強化 ・コーチの必要性 ・指導上の支障 ・顧問の負担
- ・顧問の継続 ・活動時間 ・活動日数 ・指導上の悩み ・運動部活動の地域移行

5 調査の時期

令和5年2月～3月

6 回答の仕方

- (1) 回答場所 <https://forms.gle/QQMLRNqDrNcyVYv77>
- (2) 回答期限 令和5年3月10日（金）



7 回答上の注意

実施前に下記のことについて説明してください。

- (1) この調査は無記名ですので、率直な回答をお願いします。
- (2) 一つの質問について、いくつかの答えが用意されています。内容によっては複数を選択したい場合もあると思いますが、一番近いものを一つ選んでください。
- (3) 「その他」を選んだ場合、簡潔な表現（要点のみ）で入力してください。
- (4) 問題用紙は、各校配布分2部を御活用いただき、それ以上必要な場合は各学校で印刷してください。

付表 2

運動部顧問調査（正顧問対象）

*各質問について、必ず1つ選択し、お答えください。

1 あなたが顧問をしている部の、種目（1～36）を選んでください

- | | | | |
|----------------|------------|------------|--------------|
| 1) 陸上競技 | 2) 水泳 | 3) バレーボール | 4) バasketボール |
| 5) ソフトテニス | 6) サッカー | 7) テニス | 8) 体操（新体操） |
| 9) 卓球 | 10) ラグビー | 11) ハンドボール | 12) 軟式野球 |
| 13) ソフトボール | 14) バドミントン | 15) 剣道 | 16) 柔道 |
| 17) 弓道 | 18) 登山 | 19) 相撲 | 20) ボート |
| 21) ウェイトリフティング | 22) フェンシング | 23) レスリング | 24) 自転車競技 |
| 25) ヨット | 26) ホッケー | 27) ボクシング | 28) アーチェリー |
| 29) スケート | 30) 空手道 | 31) なぎなた | 32) スキー |
| 33) カヌー | 34) 少林寺拳法 | 35) 硬式野球 | 36) その他 |

2 あなたが顧問をしている部の、男女の別を選んでください

1. 男子 2. 女子 3. 男女混合

3 あなたの性別を選んでください

1. 男 2. 女

4 あなたの年齢を選んでください

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代

5 あなたが所属している学校を選んでください

1. 県立 2. 市立 3. 私立

6 あなたの教科を選んでください

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 国語 | 2. 地歴 | 3. 公民 | 4. 数学 | 5. 理科 |
| 6. 保健体育 | 7. 芸術 | 8. 外国語 | 9. 家庭 | 10. 農業 |
| 11. 工業 | 12. 商業 | 13. 水産 | 14. 情報 | 15. その他 |

7 あなたが顧問をしている部の顧問数は、あなたを含め何人ですか

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

8 あなたが顧問をしている部の、副顧問の役割について該当する項目を選んでください

1. 副顧問はいない
2. 副顧問は1人いるが、運営には携わらない
3. 副顧問は1人おり、補助的に運営に携わる
4. 副顧問は1人おり、正顧問と同等に運営に携わる
5. 副顧問は1人おり、正顧問よりも主体的に運営に携わる
6. 副顧問は複数おり、運営に携わらない副顧問もいる
7. 副顧問は複数おり、それぞれが役割を持ち運営に携わる
8. その他

9 あなたが顧問をしている種目について、選手としての経験はありますか

1. ある
2. ない

10 あなたが顧問をしている種目について、何年間の指導歴（顧問歴）がありますか

1. 0年～4年
2. 5年～9年
3. 10年～14年
4. 15年～19年
5. 20年～24年
6. 25年～29年
7. 30年～

11 あなたが顧問をしている部には、コーチまたはトレーナーがいますか

1. コーチがいる
2. トレーナーがいる
3. どちらもいる
4. どちらもいない

12 あなたが部活動を指導していく上で最も重要視する方針は何ですか

1. 技術向上や勝つことをねらいとしている
2. スポーツを通して協力性や責任感など人間性を身につけさせる
3. 勝敗にこだわらず楽しく活動させている
4. 特に方針はもたずに、ただ活動させている
5. その他

13 12で1と答えた方は「その理由」を下から選んでください
なお、1以外を選んだ方は、5を選んでください

1. 強くすることにより自分の価値を高めたい
2. 部員に勝つ喜びを味わわせたい
3. 部員の希望でもあり自分の喜びである
4. その他
5. 12番で1以外を選択した

14 あなたの部活動の目標をどこにおいていますか

1. 全国大会優勝以上
2. 全国大会上位入賞
3. 全国大会出場
4. 東海大会上位入賞
5. 東海大会出場
6. 県大会上位入賞
7. 県大会出場
8. 地区予選上位入賞
9. 地区予選参加
10. その他

15 あなたは自分の指導力についてどのように思いますか

1. 自信があり、思いどおり指導できている
2. 自信はないが何とか指導できている
3. 自信はあるが、思いどおりの指導はできていない
4. 自信もないし、指導もできていない
5. その他

16 15で1または2と答えた方は、その理由を下記から選んでください。
なお、1・2以外を選んだ方は、6を選んでください。

1. 選手時代の経験
2. 選手経験と指導経験
3. 選手経験はないが指導経験が豊富
4. 選手経験や指導経験はないが熱意や研究心がある
5. その他
6. 15番で1・2以外を選択した

17 15で3または4と答えた方は、その解決のためにどのような努力をしていますか。
下記から選んでください
なお、3・4以外を選んだ方は、8を選んでください

1. 他の指導者にアドバイスをもらう
2. 他校との練習会・練習試合を多く行い、学ぶ
3. 講習会や研修会に参加する
4. 指導書を読む
5. 部員と一緒に研究する
6. 特に何もしない
7. その他
8. 15番で3・4以外を選択した

18 あなたが担当している部活動の強化のためには何が最も重要だと思いますか

1. 優秀選手の確保
2. 部員数拡大
3. 練習量
4. 指導者・指導力
5. 経済力
6. 施設・設備
7. 学校の理解・協力
8. 地域の協力
9. 保護者の理解・協力
10. その他

19 あなたが担当している部活動に、外部コーチ等の顧問以外の指導者は必要だと思いますか

1. 必要ない
2. より強化をはかるために、必要である
3. 自分に指導力がないため、必要である
4. その他の理由で必要である

20 あなたは現在、部活動を指導する上で支障がありますか

1. 特にない
2. 公務多忙
3. 予算
4. 指導者・指導力不足
5. 部員数減少
6. 施設・設備
7. 学校の理解
8. 保護者の理解
9. その他

21 あなたは現在、部活動の顧問を負担に思うことがありますか

1. よく思う
2. 時々思う
3. 思わない

22 21で1または2と答えた方は「その理由」を下記から選んでください
なお、3を選んだ方は、8を選んでください

1. 休日がなくなる
2. 帰宅時間が遅くなる
3. 公務等に支障がある
4. 指導に自信がない
5. やりがいを見出せない
6. 部員との人間関係に疲れる
7. その他
8. 21番で3を選択した

23 あなたはこれからも現在の部活動の顧問を続けたいですか

1. 続けたい 2. やめたい 3. どちらともいえない

24 平日の平均活動時間はどれくらいですか

1. ほとんど活動しない 2. 1時間程度 3. 2時間程度
4. 3時間程度 5. 4時間程度 6. それ以上 7. その他

25 休日の平均活動時間はどれくらいですか

1. ほとんど活動しない 2. 1時間程度 3. 2時間程度
4. 3時間程度 5. 4時間程度 6. それ以上
7. ほぼ1日 8. その他

26 週あたりの平均活動日数は何日ですか

1. ほとんど活動しない 2. 1日程度 3. 2日程度
4. 3日程度 5. 4日程度 6. 5日程度
7. 6日程度 8. ほとんど毎日

27 夏季休業中の平均活動日数は何日ですか

1. 1～10日 2. 11～20日 3. 21～30日
4. 31～ほぼ毎日 5. 活動しない

28 夏季休業中の活動日数を決めている、最も大きな理由はなんですか

1. 学校の内規 2. 顧問の意思 3. 部員の希望
4. 顧問と部員の合意 5. 保護者の意見
6. その他

29 部員を指導していく上での悩みはありますか

いちばん近いものを一つ選んでください

1. 特にない
2. 練習の割には、思うような結果が出ない
3. コミュニケーションがうまくとれない
4. 顧問と生徒の目標にズレがある
5. 生徒が顧問の指導方針についてこられない
6. 生徒が練習についてこられない
7. 生徒にやる気がなく、練習にならない
8. 生徒に生活指導上問題があり、部活運営がうまくできない
9. 生徒がすぐ辞めてしまう
10. 生徒の競技力に合わせた指導ができない
11. その他

必読

運動部活動の地域移行に関する質問

運動部活動の在り方が議論される中で、令和4年12月に国より「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が出され、中学校の学校部活動の地域連携及び、地域クラブ活動への移行に向けた方針が示されました。現在、令和5年度から3年間の改革推進期間として準備が進められています。

高等学校における地域連携・地域移行については、「各学校の実情に応じて取り組むことが望ましい」との記述に留められていますが、中学校段階での部活動の構造的な変化の影響が、高校段階にも波及してくることも考えられます。県高体連としても、今後の動向に注視したいと思っています。

今回の意識調査では、「高等学校における運動部活動の地域移行」をした場合の、先生方の率直な意見を伺いたいと思い、以下の質問を設定させていただきました。

30 今後、高等学校における運動部活動は地域移行していきべきだと思いますか

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

31 仮に、兼職兼業等の仕組みが整備された場合に、地域のスポーツ団体等で指導者として携わりたいと思いますか

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

32 地域のスポーツ団体での指導の際に、どのような報酬・条件であれば携わろうと思いますか

1. 無償でも携わりたい
2. 現行と同じ程度（特殊勤務手当等）の報酬・条件であれば携わりたい
3. 自分の指導力や実績に応じた正当な報酬・条件であれば携わりたい
4. 携わりたくない

33 あなたが指導する部活動が地域移行した場合に、良い影響が出ると思う事柄について選択してください（複数回答可）

1. 教員の多忙化解消
2. 特色ある学校づくり
3. 学校と地域のつながり
4. 生徒の体力向上
5. 生徒の人間関係構築
6. 生徒が希望するスポーツ種目への参加
7. 該当スポーツ種目の競技力向上
8. 該当スポーツ種目の普及・人口拡大
9. 指導の質の向上
10. 指導者の地位・待遇向上

34 あなたが指導する部活動が地域移行した場合に、悪い影響が出ると思う事柄について選択してください（複数回答可）

1. 教員の多忙化解消
2. 特色ある学校づくり
3. 学校と地域のつながり
4. 生徒の体力向上
5. 生徒の人間関係構築
6. 生徒が希望するスポーツ種目への参加
7. 該当スポーツ種目の競技力向上
8. 該当スポーツ種目の普及・人口拡大
9. 指導の質の向上
10. 指導者の地位・待遇向上

御協力ありがとうございました。

付表3

設問	回答	陸上競技	水泳	バレーボール	バスケットボール	ソフトテニス	テニス	サッカー	体操・新体操	卓球	ラグビー	ハンドボール	軟式野球	ソフトボール	バドミントン	剣道	弓道	登山	相撲	ボート	ウエイトリフティング	フエンシング	レスリング	自転車	ヨット	ホッケー	ボクシング	アーチェリー	スケート	スキー	空手道	なぎなた	少林寺拳法	カー	硬式野球	その他	総計	
		119	53	142	177	49	124	122	19	92	12	34	2	28	64	70	39	61	19	6	10	1	3	9	4	1	4	1	6	0	0	10	1	4	2	99	34	1421
2	1 男子	6	4	60	96	18	59	100	2	12	8	21	2	3	8	7	15	1	3	5	1	0	0	2	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	85	5	528
	2 女子	6	1	81	81	22	46	15	13	6	0	11	0	25	22	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	12	352	
	3 男女共	107	48	1	0	9	19	7	4	74	4	2	0	0	34	61	22	58	16	1	9	1	3	7	3	1	0	0	6	10	0	4	2	11	17	541		
3	1 男性	112	41	118	150	43	101	120	9	78	12	26	2	24	56	61	36	50	17	6	9	1	3	9	4	1	4	1	6	9	0	4	2	96	20	1231		
	2 女性	7	12	24	27	6	23	2	10	14	0	8	0	4	8	9	3	11	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	14	190		
4	1 20歳代	15	14	34	43	11	23	13	5	26	1	4	0	4	12	6	13	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	14	1	250		
	2 30歳代	38	8	37	49	15	38	37	5	21	4	12	0	7	21	19	12	14	4	0	7	0	1	0	2	0	2	1	1	1	0	2	0	26	13	397		
	3 40歳代	31	17	34	51	6	28	55	4	14	1	13	1	11	13	20	12	9	7	1	3	1	0	5	1	0	2	0	2	2	1	0	1	32	10	388		
	4 50歳代	31	9	30	27	14	28	11	5	24	5	4	1	3	16	18	9	20	3	3	0	0	1	4	1	0	0	0	2	6	0	1	1	26	6	309		
	5 60歳代	4	5	7	7	3	7	6	0	7	1	1	0	3	2	7	0	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	77		
5	1 県立	86	40	105	129	35	88	77	11	64	6	28	2	12	47	49	23	51	14	5	10	1	3	8	1	1	2	0	6	3	0	2	2	73	14	998		
	2 市立	4	4	8	5	1	9	7	2	3	0	2	0	1	1	4	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	66	
	3 私立	29	9	29	43	13	27	38	6	25	6	4	0	15	16	17	14	6	4	1	0	0	1	3	0	2	1	0	7	0	2	0	21	18	357			
6	1 国語	5	4	7	9	6	16	3	1	11	1	2	0	4	6	7	3	15	5	0	0	0	0	1	0	0	0	5	3	0	0	1	7	122				
	2 地歴	8	3	15	16	4	15	4	2	13	0	3	0	3	9	9	1	11	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	2	130			
	3 公民	2	2	3	3	2	3	2	0	6	0	0	0	2	2	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	37			
	4 数学	8	9	20	19	15	34	12	0	18	0	4	0	1	13	10	5	8	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	2	0	3	0	7	4	199			
	5 理科	9	7	16	19	3	15	6	1	16	0	4	0	2	7	9	1	4	7	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	4	139		
	6 保健体育	73	16	51	65	8	9	80	11	3	7	19	1	10	5	18	14	2	0	1	3	0	0	5	0	0	1	0	2	0	0	1	1	66	5	476		
	7 芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	8 外国語	5	4	14	19	7	16	6	3	12	0	1	0	4	8	7	4	8	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	6	131		
	9 家庭	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	10	
	10 農業	0	1	3	8	0	4	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	
	11 工業	3	6	6	7	2	7	2	1	5	2	1	0	0	3	4	4	4	2	0	1	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	1	70		
	12 商業	5	1	2	7	2	1	4	0	5	0	0	1	2	4	0	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	47		
	13 水産	0	0	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14		
	14 情報	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8		
	15 その他	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	5	6	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
7	1 1人	8	4	9	15	5	10	3	3	10	1	2	0	3	5	6	3	5	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	1	100	
	2 2人	67	32	105	124	26	69	55	10	56	3	23	1	16	29	44	26	34	9	4	3	0	1	5	2	1	3	1	5	7	0	2	0	22	18	803		
	3 3人	32	15	19	26	12	33	45	6	20	7	9	1	7	21	12	3	20	8	0	5	1	2	2	0	0	0	1	2	1	1	1	38	11	361			
	4 4人	6	1	0	2	1	5	6	12	0	4	1	0	0	0	7	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	26	2	128	
	5 5人以上	6	1	9	10	5	6	7	0	3	0	0	0	2	2	6	5	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	11	2	80			

付表3

設問	回答	陸上競技	水泳	バレーボール	バスケットボール	ソフトテニス	テニス	サッカー	体操・新体操	卓球	ラグビー	ハンドボール	軟式野球	ソフトボール	バドミントン	剣道	柔道	弓道	登山	相撲	ボート	ウエイトリフティング	レスリング	自転車	ヨット	ホッケー	ボクシング	アーチェリー	スケート	スキー	空手道	なぎなた	少林寺拳法	カーヌー	硬式野球	その他	総計
15	1	17	7	20	28	7	13	23	1	4	2	2	1	2	7	14	4	8	3	0	3	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	1	17	2	191		
	2	65	24	70	86	22	62	52	5	47	5	17	0	14	33	24	16	31	14	3	4	0	1	4	3	0	1	5		5	0	1	0	45	15	675	
	3	19	4	10	17	5	15	25	4	6	5	4	1	8	3	15	7	6	1	1	1	1	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	22	3	188	
	4	14	16	34	41	13	32	13	6	31	0	10	0	4	19	14	11	14	1	0	2	1	1	0	0	1	2	0	0	2	1	3	0	6	11	303	
	5	4	2	8	5	2	2	9	3	4	0	1	0	0	2	3	1	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3	64
16	1	7	4	8	11	3	7	7	3	8	1	4	0	3	4	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		0	0	1	0	4	1	89	
	2	56	18	62	70	15	29	61	3	20	4	11	0	7	11	27	12	17	2	3	5	0	1	6	0	0	1	2		5	0	0	1	51	7	508	
	3	4	1	7	8	5	16	3	0	8	0	2	0	4	11	4	0	6	5	0	1	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	3	90
	4	11	8	11	15	3	18	2	0	11	1	1	1	1	3	10	6	3	7	4	0	1	0	0	2	0	0	0	1		1	0	0	1	3	123	
	5	4	0	2	8	2	5	5	1	4	1	1	0	0	4	2	1	3	6	0	0	0	0	1	0	0	0	2		0	0	0	0	5	3	60	
17	1	7	5	12	19	3	12	13	2	10	1	7	1	3	11	10	6	7	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1		1	1	2	0	14	5	158
	2	6	1	20	14	2	14	9	1	7	2	1	0	6	8	10	7	4	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0		1	0	0	0	7	0	123	
	3	2	2	4	7	0	5	10	0	2	1	1	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	2	1	43	
	4	6	5	2	7	3	3	3	0	2	0	0	0	1	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	4	0	42	
	5	5	5	5	9	5	16	8	3	7	0	2	1	3	6	5	2	3	4	1	1	0	0	0	0	0	1	0		1	0	1	0	6	5	105	
	6	6	6	5	8	3	9	4	2	9	0	3	0	3	6	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0		1	0	0	0	1	4	82	
	7	2	0	2	2	3	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1	2	0	20	
18	1	23	3	33	31	8	19	22	4	16	1	4	1	6	12	11	6	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0		1	0	0	0	31	2	240	
	2	27	6	32	45	11	27	26	3	8	8	8	1	11	2	31	16	6	0	5	3	0	1	6	0	0	1	0		1	0	2	1	22	4	315	
	3	2	6	5	10	2	5	2	1	5	0	3	0	0	6	2	1	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2		3	0	1	0	2	2	75	
	4	29	16	34	60	16	41	32	4	39	0	12	0	3	18	9	10	26	4	0	4	0	1	0	0	0	1	0		2	1	0	0	21	7	391	
	5	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0		0	0	0	0	0	2	16	
19	6	10	9	3	5	4	17	14	1	5	0	3	0	3	6	3	1	9	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0		1	0	0	0	5	6	112	
	7	11	3	9	8	2	2	12	2	7	1	1	0	0	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		2	0	0	0	8	4	84	
	8	0	1	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	17	
	9	12	7	14	12	2	8	4	0	4	1	1	0	2	2	5	3	1	3	0	1	0	0	1	1	0	0	1		0	0	1	0	6	2	95	
	10	4	2	10	6	3	4	9	1	7	1	2	0	1	7	3	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	1	3	5	76	
	1	49	26	52	63	10	42	17	4	31	0	6	1	15	16	26	10	20	7	1	2	0	0	3	0	0	0	2		1	0	0	0	26	9	439	
	2	45	8	48	57	15	35	79	6	18	8	18	1	10	17	21	14	17	2	3	5	0	2	4	2	0	2	0		6	1	0	2	63	10	520	
	3	13	17	30	43	15	36	14	5	32	2	7	0	2	23	13	10	14	4	0	1	1	1	0	0	1	0	1		3	0	4	0	2	12	307	
	4	12	2	12	14	9	11	12	4	11	2	3	0	1	8	10	5	10	6	1	2	0	0	2	0	1	1	2		0	0	0	0	8	3	154	

付表3

設問	回答	陸上競技	水泳	バレーボール	バスケットボール	ソフトテニス	テニス	サッカー	体操・新体操	卓球	ラグビー	ハンドボール	軟式野球	ソフトボール	バトミントン	剣道	柔道	弓道	登山	相撲	ボート	ウエイティング	フエンス	レスリング	自転車	ヨット	ホッケー	ボクシング	アーチェリー	スケート	スキー	空手道	なぎなた	少林寺拳法	カー	硬式野球	その他	総計		
20	1	27	12	19	15	6	16	15	2	7	3	6	0	10	4	13	5	2	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	23	9	205	
	2	42	18	62	73	20	55	55	9	55	0	13	0	8	40	23	15	25	11	1	4	0	3	5	3	1	3	0	5	7	0	2	0	19	10	587				
	3	2	0	0	3	1	1	4	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	24	
	4	6	7	11	19	4	15	8	1	13	1	3	0	1	8	3	4	7	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	127	
	5	17	6	26	39	8	14	16	3	9	7	6	1	6	2	20	12	6	0	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3	231	
	6	15	8	9	8	3	11	13	2	2	1	4	0	1	4	3	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	111
	7	5	2	5	7	0	1	6	0	2	0	0	0	0	0	1	4	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	42	
	8	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	15	
	9	4	0	7	10	7	9	4	2	4	0	2	1	1	3	2	1	5	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	4	78	
21	1	28	17	57	58	24	46	32	6	50	2	11	1	4	31	21	13	22	6	0	4	1	3	0	1	1	3	0	3	1	0	2	0	11	15	474				
	2	44	21	47	59	15	55	46	8	31	1	10	0	10	26	22	6	25	11	1	3	0	0	4	3	0	0	1	0	6	1	2	1	41	10	510				
	3	47	15	38	60	10	23	44	5	11	9	13	1	14	7	27	20	14	2	5	3	0	0	5	0	0	1	0	3	3	0	0	1	47	9	437				
22	1	31	16	59	58	18	53	46	4	39	1	11	0	7	31	18	9	18	9	0	1	0	2	2	3	0	3	1	3	3	1	1	0	24	8	480				
	2	17	11	11	19	5	13	7	3	17	0	6	0	3	10	5	2	9	1	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	6	163	
	3	12	5	6	14	5	10	8	4	12	0	2	0	1	5	7	2	6	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4	4	1	116			
	4	0	4	7	8	2	4	2	2	3	1	2	0	0	3	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	49	
	5	4	2	5	6	3	7	7	0	4	0	1	0	1	3	3	2	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	58	
	6	2	0	8	6	1	6	4	0	2	1	0	1	0	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	45	
	7	5	0	8	6	5	11	4	1	4	0	0	0	2	2	5	0	6	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	3	75		
	23	1	77	19	63	88	14	54	75	10	24	11	20	0	12	19	37	18	28	8	6	6	0	0	8	3	0	1	0	2	5	0	1	2	77	12	700			
2	17	14	33	35	16	34	16	3	27	1	6	0	2	14	13	13	14	2	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	276		
3	25	20	46	54	19	36	31	6	41	0	8	2	14	31	20	8	19	9	0	2	1	3	1	0	0	0	2	1	4	5	1	3	0	19	14	445				
24	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8		
	2	8	4	6	6	2	7	4	3	5	0	0	0	2	4	5	1	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	75		
	3	69	35	74	106	30	84	87	7	64	12	20	1	8	36	49	25	48	7	4	5	1	2	4	1	2	1	6	5	1	3	0	13	22	833					
	4	40	12	58	61	17	31	29	8	18	0	14	0	14	23	14	12	0	0	4	0	4	0	1	5	2	0	2	0	0	4	0	1	2	57	6	447			
	5	1	0	2	3	0	2	0	1	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	41		
	6	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	6	
	7	5	5	2	3	3	2	2	0	14	0	0	0	0	3	2	4	1	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	63	
25	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5		
	3	17	19	3	11	2	6	25	0	8	3	0	0	0	5	10	5	4	2	2	0	1	4	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	133			
	4	73	19	51	104	10	52	35	2	45	5	17	0	5	27	43	20	32	4	2	2	0	2	5	1	0	2	0	4	5	1	3	0	5	7	583				
	5	19	5	61	54	18	54	31	11	19	4	15	1	8	28	11	8	21	1	0	8	0	1	0	1	0	1	0	2	0	4	0	0	2	19	7	415			
	6	2	1	10	3	3	3	21	2	3	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	2	82		
	7	2	2	11	1	13	6	7	3	3	0	0	1	9	2	0	1	3	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	48	3	118	
	8	1	2	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	22		

付表3

設問	回答	陸上競技	水泳	バレーボール	バスケットボール	ソフトテニス	テニス	サッカー	体操・新体操	卓球	ラグビー	ハンドボール	ソフトボール	バドミントン	剣道	弓道	登山	相撲	ボート	ウエイトリフティング	フエンシング	レスリング	自転車	ヨット	ホッケー	ボクシング	アーチェリー	スケート	スキー	空手道	なぎなた	少林寺拳法	カヌー	硬式野球	その他	総計
30	1	31	22	42	49	21	53	35	4	41	0	9	0	6	19	17	16	26	4	0	2	0	3	1	1	2	0	1	0	1	3	0	8	19	439	
	2	27	11	36	55	11	34	29	4	32	9	12	1	4	21	19	5	15	10	2	3	1	0	4	1	0	0	1	0	6	0	1	1	18	7	380
	3	47	18	46	49	10	26	38	8	15	3	8	1	10	10	19	11	17	5	4	0	0	1	2	0	2	0	4	3	0	0	1	34	6	402	
	4	14	2	18	24	7	11	20	3	4	0	5	0	8	14	15	7	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	39	2	200
31	1	34	5	19	38	6	18	49	3	3	6	10	0	5	6	18	8	10	0	4	0	0	5	0	0	0	2	4	0	0	1	39	1	294		
	2	32	10	38	54	7	30	36	6	14	5	8	1	5	8	21	6	8	3	1	0	0	2	1	0	2	3	0	2	1	29	2	339			
	3	29	16	46	49	17	30	19	6	25	1	7	1	7	23	12	11	21	10	2	3	1	2	2	1	0	0	2	1	0	0	22	8	375		
	4	24	22	39	36	19	46	18	4	50	1	9	0	11	27	19	14	22	6	1	2	0	2	0	1	0	2	1	2	1	0	9	23	414		
32	1	8	3	5	11	1	4	5	3	2	6	2	0	1	3	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	10	0	82		
	2	25	7	36	42	3	25	25	1	11	5	11	1	5	8	19	10	10	1	3	1	0	3	2	0	2	0	0	2	0	3	1	32	2	296	
	3	53	15	55	81	27	45	78	9	20	0	11	1	13	20	24	11	27	9	2	7	1	1	5	1	0	0	1	5	3	0	1	39	8	573	
	4	33	28	46	43	18	50	14	6	59	0	10	0	9	33	21	12	21	8	1	2	0	2	1	1	2	0	1	3	1	1	0	18	24	469	
33	1	82	37	108	136	36	102	75	15	70	7	24	2	20	54	38	23	46	16	1	5	1	3	5	4	1	3	1	5	4	1	4	0	61	26	1016
	2	11	3	16	18	4	11	23	0	8	2	1	0	1	3	5	2	6	0	1	2	1	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	10	6	141	
	3	61	22	51	70	19	51	72	8	48	7	13	1	15	28	16	17	28	7	5	7	1	2	5	4	1	1	0	3	4	1	3	1	41	21	634
	4	12	7	16	11	6	21	6	1	12	2	2	0	2	4	5	7	6	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	5	2	136	
	5	23	6	16	23	6	26	16	4	22	3	6	0	4	8	7	6	3	2	5	0	2	0	2	0	0	0	4	2	0	0	0	7	4	213	
	6	48	22	68	72	20	45	46	6	46	6	16	0	9	28	9	18	23	6	3	4	1	1	4	2	1	2	0	4	3	0	1	26	10	551	
	7	44	19	44	65	12	43	30	7	34	6	7	0	5	17	7	10	20	3	2	3	1	2	3	2	1	1	0	2	7	0	2	1	22	13	435
	8	26	9	28	34	12	23	38	6	12	8	8	0	7	11	6	14	10	3	0	4	1	2	5	3	1	1	0	1	2	0	0	2	17	6	300
	9	32	20	42	57	15	41	35	7	33	4	13	0	2	17	14	12	22	5	0	3	1	0	2	2	1	1	1	4	0	2	0	13	13	415	
	10	19	11	24	40	5	18	28	4	12	3	4	1	4	7	3	4	7	0	2	0	1	1	1	0	0	1	2	0	2	0	2	0	18	1	224
34	1	15	4	20	16	4	15	12	0	8	1	1	1	7	8	11	3	10	1	5	0	1	2	1	0	0	1	6	1	0	1	12	2	170		
	2	49	22	51	80	16	36	32	6	33	4	15	0	13	23	27	19	18	4	2	2	0	2	5	2	0	3	1	5	4	0	1	0	39	10	524
	3	11	6	15	19	10	8	6	0	8	1	0	0	4	9	4	2	4	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	12	1	124	
	4	25	6	19	33	10	11	21	2	8	2	9	0	3	15	11	5	5	2	0	1	0	1	2	1	0	0	1	2	0	0	0	21	5	222	
	5	51	23	75	96	28	66	47	8	48	4	19	1	15	33	33	11	33	12	2	4	0	1	3	4	1	1	1	4	0	1	0	56	18	700	
	6	17	7	14	17	9	16	14	2	13	0	4	0	3	5	5	4	9	4	0	1	0	1	1	1	0	0	3	0	0	1	14	5	170		
	7	10	0	11	11	7	7	9	3	7	1	5	0	2	7	10	5	8	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	19	1	130	
	8	30	9	30	38	9	16	22	2	11	2	9	0	5	8	14	3	12	2	1	1	0	0	1	2	0	0	4	1	0	1	0	18	2	253	
	9	21	5	23	27	11	12	23	1	8	1	1	0	8	4	14	9	6	1	2	1	0	0	3	2	0	0	1	2	0	0	1	34	5	226	
	10	25	6	18	13	8	16	10	1	13	3	1	0	7	9	7	8	4	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	17	5	179	

編集後記

平素より、静岡県高等学校体育連盟研究部の活動に御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

昭和63年、平成16年、平成24年に続き、今回（令和5年）で4回目となる「運動部顧問調査」アンケートに、1,421人の先生方より回答をいただきました。このアンケート結果は、今後の研究における大切な資料として、大いに役立つことと確信しております。御協力いただきました先生方に、心よりお礼申し上げます。

調査開始当初、運動部活動を通じ生涯スポーツに繋がり、豊かな人間性の構築や競技力の向上の一助となる目的も含まれていました。本調査を実施する中で「部活動ガイドラインの策定」「新型コロナウイルス感染症の感染拡大」「生徒自身の放課後活動の多様性」「教職員の働き方改革」といった時代の移り変わりにより、部活動に対する意義や考え方に大きな変化がみられるようになりました。入学する生徒数の減少、運動部活動離れから、顧問としての先生方が「生徒個々の技術技能を向上させたい、勝つ喜びを経験させたい、人間性を育成したい」という思いから、「顧問が部員の意見を反映させた合意による活動計画をし、日々の活動を充実させる生徒の意見を尊重する活動方針へ」、まさに生徒の主体性を育みながら御指導に当たられていることが改めて感じられました。適切なワークライフバランスが求められる中で、指導内容の充実と生徒の健全育成を目指すのは容易なことではありません。地道な努力を重ねられている先生方の姿勢が、部活動を支え教育活動に大きく貢献されているという事実が再認識されたと思います。

2023年に開催された「バスケットボール・ワールドカップ」や「ラグビー・ワールドカップ」、「アジア競技大会」等の世界大会での日本代表の活躍に日本国民が熱狂したように、スポーツが人の心に与える影響力は、絶大であることを物語っています。スポーツに親しみ、スポーツを支える人材の育成には、学校での部活動の存在は欠かせないものではないでしょうか。

各学校での顧問の先生方、生徒たちの活動に少しでも寄与できるよう研究部としましても更に尽力したいと考えております。今後も静岡県の部活動が継承され、多くの人々がスポーツをとおして、心身が健康で活力あるライフスタイルを築く基礎となることを祈念し、編集後記とさせていただきます。

静岡県高等学校体育連盟 研究部 委員長 小原勝則

令和5年度静岡県高等学校体育連盟 研究部

部 長	朝倉 徹	(静岡県立相良高等学校長)	
委員 長	小原 勝則	(静岡県立川根高等学校副校長)	
副委員長	田代 浩一	(静岡県立三島北高等学校教諭)	
委 員	阿井 雄平	(静岡県立沼津西高等学校教諭)	
	青島 大樹	(島田樟誠高等学校教諭)	
	藤田 賢美	(静岡県立池新田高等学校教諭)	
	軒田 隼人	(静岡県立静岡農業高等学校教諭)	
	鈴木 啓史	(静岡県立裾野高等学校教諭)	
	杉本 貴央	(静岡県立浜松南高等学校教諭)	
	名取 志帆	(静岡県立静岡東高等学校教諭)	
	木村 剛典	(静岡県立浜松湖南高等学校教諭)	
	戸塚 裕美	(静岡県立静岡高等学校教諭)	
	鈴木 陽大	(静岡県立沼津工業高等学校教諭)	
	戸上奈穂子	(静岡県立富士東高等学校教諭)	
	県 教 委	榎本 行秀	(静岡県教育委員会健康体育課学校体育班教育主幹)
	事 務 局	澤木 徹	(静岡県高等学校体育連盟理事長)